

# AVENTAGE

ブルーレイディスクプレーヤー

## BD-A1060

### 取扱説明書

ご使用前に本書の「安全上のご注意」（72 ～ 74ページ）を必ずお読みください。

ヤマハ製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

- 製品を正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に本書をよくお読みください。  
お読みになったあとは、保証書と共にいつでも見られるところに大切に保管してください。
- 保証書に「購入日、販売店名」が正しく記入されていることを必ずご確認ください。

本書は下記のウェブサイトから PDF 版をダウンロードできます。

<http://download.yamaha.com/jp/>

保証書別添付

# 目次

付属品を確認する .....	4
<b>本機の特長</b> .....	<b>5</b>
本機でできること .....	5
ディスクとファイルについて .....	6
再生できるディスク .....	6
再生できるデータファイル .....	6
ディスクをセットする .....	7
各部の名称 .....	8
前面 .....	8
背面 .....	9
リモコン .....	10
<b>準備する</b> .....	<b>12</b>
映像 / 音声機器を接続する .....	12
出力端子とケーブル .....	13
AV レシーバー経由でテレビを接続する .....	14
テレビを接続する .....	14
テレビ / 音声機器を接続する .....	14
ネットワークに接続する .....	15
有線接続 .....	16
無線接続 .....	16
DLNA .....	16
USB メモリーを接続する .....	18
その他の機器を接続する .....	18
リモート接続対応のヤマハ製機器を接続する .....	18

電源コードを接続する .....	19
初期設定を行う .....	20
簡単セットアップを実行する .....	20
無線接続を設定する .....	21
本機のソフトウェアを更新する .....	22
<b>再生する</b> .....	<b>23</b>
再生の基本操作 .....	23
市販のディスクを再生する .....	23
動画 / 音楽ファイルを再生する .....	24
写真を見る .....	26
高音質な音声を楽しむ .....	27
音楽 CD やスーパーオーディオ CD を高音質な音声で楽しむ (CD モード) .....	27
映画や音楽を原音に忠実な音声で再生する (ピュアダイレクト) .....	27
便利な再生機能 .....	28
お好みの順番で再生する (プログラム再生) .....	28
順不同で再生する (シャッフル再生) .....	29
繰り返し再生する (リピート再生) .....	29
指定した箇所から再生する (サーチ再生) .....	30
字幕言語を切り替える .....	31
アングルを切り替える .....	31
音声言語や音声フォーマットを切り替える .....	31
テレビ画面で操作する .....	32
画面で再生操作をする (オンスクリーンメニュー) .....	32
再生情報を表示する .....	33

## ブルーレイディスクの特殊コンテンツを楽しむ (BONUSVIEW™/BD-Live™) ..... 35

- 第2映像や第2音声を楽しむ (Picture in Picture/Secondary Audio) ..... 35
- BD-Live™ を楽しむ ..... 36

## モバイル機器のコンテンツを DLNA 再生で楽しむ (Wi-Fi Direct) ..... 37

## スマートフォンの動画 / 写真をテレビで楽しむ (Miracast™) .... 38

## モバイル機器から本機を操作する (AV CONTROLLER) ..... 39

# 設定する 40

## 本機の各種機能を設定する (設定メニュー) ..... 40

- 設定メニューでできること ..... 41
- 一般設定 ..... 43
- ディスプレイ設定 ..... 48
- オーディオ設定 ..... 51
- システム情報 ..... 54

## 本機の映像 / 音声出力 ..... 55

- 映像出力フォーマット ..... 55
- 音声出力フォーマット ..... 56

# 付録 58

## 故障かな？と思ったら ..... 58

- 電源 / システム / リモコン ..... 58
- 映像 ..... 59
- 音声 ..... 60
- ネットワーク ..... 61

## テレビ画面のエラー表示 ..... 63

## ディスクと動画再生に関するご注意 ..... 64

- ディスクに関するご注意 ..... 64
- 3D 映像の視聴に関するご注意 ..... 64
- Cinavia テクノロジーについて ..... 65

## 用語 / 技術解説 ..... 66

- 映像 / ディスクに関する用語 ..... 66
- 音声に関する用語 ..... 66
- ネットワークに関する用語 ..... 67

## 商標 ..... 68

## 主な仕様 ..... 69

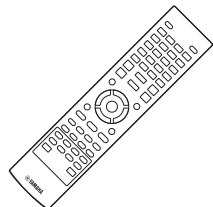
## 索引 ..... 71

## 安全上のご注意 ..... 73

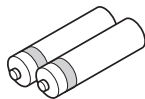
## 付属品を確認する

すべて揃っていることをお確かめください。

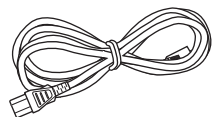
□ リモコン



□ 単 4 乾電池 (2 本)



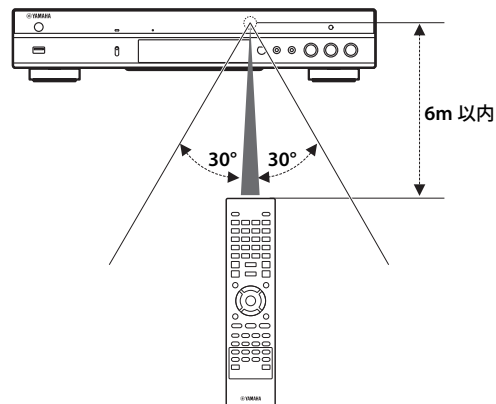
□ 電源コード



□ 取扱説明書（本書）

### リモコンの操作範囲

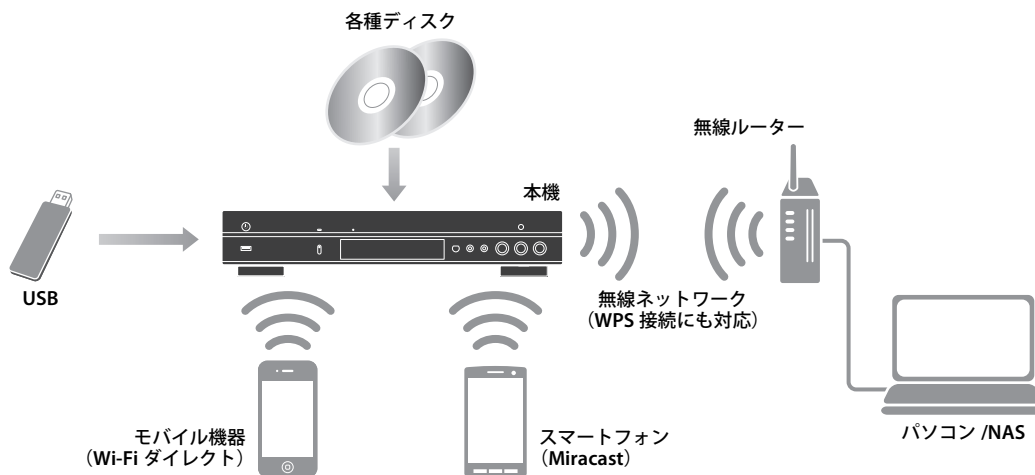
- 本体のリモコン信号受光部に向け、以下の範囲内で操作してください。



- 仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。
- 本書は付属のリモコンによる操作を主として説明しています。
- 本書で使用されている記号
  - ! 使用時の注意点や機能の制約が記載されています。
  - 💡 知っておくと便利な補足情報が記載されています。
- 本機の一部の機能は特定のディスク / ファイルにのみ対応しています。その場合、本書では対応ディスク / ファイルを以下のように表示しています。
  - BD** 市販のブルーレイディスク (BD-Video)、BD-AV
  - DVD** 市販の DVD (DVD-Video)、DVD-VR、DVD+VR
  - CD** オーディオ CD、スーパーオーディオ CD (SA-CD)
  - VIDEO** 動画ファイル
  - MUSIC** 音楽ファイル
  - PHOTO** 写真ファイル

# 本機の特長

## 本機でできること



### ハイレゾ音源再生に対応したプレーヤー

- ・スーパーオーディオ CD (SA-CD)、DSD 音声ファイル (2.8/5.6 MHz) の再生 (7 ページ)
- ・192kHz/24bit ハイレゾ音源再生 (ブルーレイディスク、音楽ファイル) (6 ページ)
- ・ブルーレイ 3D™ (48 ページ)、BONUSVIEW™ (35 ページ)、BD-Live™ (35 ページ)
- ・音楽 CD/ スーパーオーディオ CD (SA-CD) を高音質で再生する CD モード (27 ページ)
- ・原音に忠実な音声で再生するピュアダイレクト (27 ページ)
- ・本機でデコードした音声を高音質で伝送するバランス接続 (XLR 端子接続) に対応 (15 ページ)

### スマートフォン/タブレットとの豊富な連携機能

- ・スマートフォンの動画や写真をテレビ画面で楽しむ (Miracast™) (38 ページ)
- ・DMC アプリケーションを使った DLNA 再生 (17 ページ)
- ・モバイル機器と直接ネットワーク接続 (Wi-Fi Direct) (37 ページ)

### 充実したネットワーク機能 / ファイル再生機能

- ・DLNA サーバー (パソコン / NAS) のコンテンツを楽しむ (24 ページ)
- ・USB メモリーやディスクに保存した動画、音楽、写真ファイルの再生 (24 ページ)

### かんたん設定 / かんたん操作

- ・自動で無線接続を設定する WPS (Wi-Fi Protected Setup) 機能 (21 ページ)
- ・ネットワークまたは USB 経由でソフトウェアの更新 (22 ページ)
- ・本機に接続したテレビやAVレシーバーとの連動操作 (HDMIコントロール) (43 ページ)
- ・モバイル機器用アプリケーション「AV CONTROLLER」を使って本機を操作する (39 ページ)

## ディスクとファイルについて

### 再生できるディスク

本機では以下のディスクを再生することができます。

ディスクの種類	フォーマット
BD-ROM	BD-Video
BD-R、BD-R (LTH)、BD-R DL、BD-RE、BD-RE DL	BD-Video、BD-RE、データファイル
DVD-ROM	DVD-Video
DVD-R、DVD-R DL、DVD-RW	DVD-Video、DVD-VR (CPRM 対応)、AVCHD、AVCREC、データファイル
DVD+R、DVD+R DL、DVD+RW	DVD-Video、DVD+VR、AVCHD、データファイル
CD-ROM	CDDA、HDCD
CD-R、CD-RW	CDDA、データファイル
SA-CD	SA-CD



- 本機は 12cm ディスクおよび 8cm ディスクを再生できます。8cm ディスクを再生する際に、アダプターは使用しないでください。
- 本機はディスクのラベル面に正規ロゴマークがついているディスクを再生できます。それ以外のディスクは、再生できなかったり映像 / 音声为正しく出力されなかったりする場合があります。
- 自作ディスクに収録されているファイルを本機で再生するには、あらかじめディスクのファイナライズを行ってください。(ファイナライズとは、再生対応機器で再生できるよう処理することです。)

### 再生できるデータファイル

本機では、ディスク、USB メモリー、DLNA サーバーに保存されている以下のデータファイルを再生することができます。

データファイルの種類	ファイル形式
音楽ファイル	AAC (.aac/.m4a)、ALAC (.m4a)* <sup>1</sup> 、DSDIFF (.dff)* <sup>2</sup> 、DSF (.dsf)* <sup>2</sup> 、FLAC (.flac)* <sup>1</sup> 、MP3 (.mp3)* <sup>3</sup> 、WAV (.wav)* <sup>1</sup> 、WMA (.wma)* <sup>4</sup>
動画ファイル	ASF (.asf)、AVI (.avi)、MKV with H.264 (.mkv)、MPEG-4 (.mp4)、MPEG PS (.mpeg/.mpg)、MPEG TS (.ts)、VOB (.vob)、WMV (.wmv)* <sup>5</sup>
写真ファイル	JPEG (.jpeg/.jpg)、GIF (.gif)、PNG (.png)

\*<sup>1</sup> サンプリング周波数：最大 192kHz/24bit (LPCM/ ステレオ)

\*<sup>2</sup> サンプリング周波数：2.8MHz/5.6MHz

\*<sup>3</sup> サンプリング周波数：32kHz～48kHz (ステレオ)、ビットレート：8kbps～320kbps

\*<sup>4</sup> サンプリング周波数：32kHz～48kHz (ステレオ)、ビットレート：32kbps～192kbps

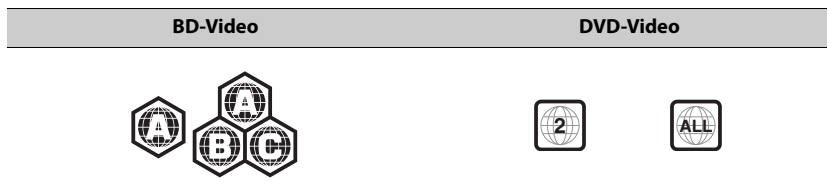
\*<sup>5</sup> WMV9 (最大解像度：1,920×1,080)



- 対応ファイルでも、ファイルの作成方法や使用しているコーデックなどにより本機で再生できない場合があります。対応ファイルすべての再生を保証するものではありません。
- 著作権保護ファイルは再生できません。
- DLNA での再生は、DLNA サーバー (パソコン / NAS) が該当ファイルの再生に対応している必要があります。

## ◆ディスクのリージョンコード

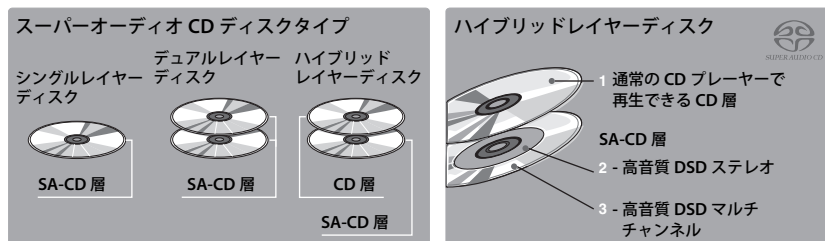
市販のブルーレイディスク（BD-Video）や DVD（DVD-Video）にはリージョンコード（発売地域ごとに割り当てられた識別番号）が決められています。本機では、リージョンコードが「A」または「ABC」のブルーレイディスク、「2」または「ALL」の DVD を再生できます。



- ディスクによっては動作が本書の説明と異なる場合があります。また再生や操作ができない場合があります。
- ディスクの再生中にメニュー画面や指示が表示された場合、表示内容にしたがって操作してください。

## ◆スーパーオーディオ CD（SA-CD）について

高音質な音楽情報が高密度に記録されたディスクです。スーパーオーディオ CD には、シングルレイヤー、デュアルレイヤー、ハイブリッドレイヤーの3種類のタイプがあります。ハイブリッドレイヤーのディスクには、1層のレイヤーに2種類のデータが記録され、もう1層に従来の音楽 CD データが記録されているため、通常の CD プレイヤーでも再生できます。



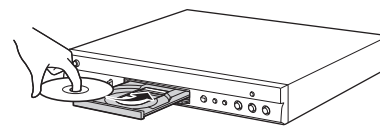
- ハイブリッドレイヤーディスクを再生する際のレイヤーは、SA-CD/CD キー（11 ページ）で切り替えることができます。
- 設定メニューの「出力方法」（53 ページ）で SA-CD および DSD ファイル再生時に出力する音声信号の種類（DSD または PCM）を設定できます。



- 本機ではディスクに含まれる文字データは表示されません。

## ディスクをセットする

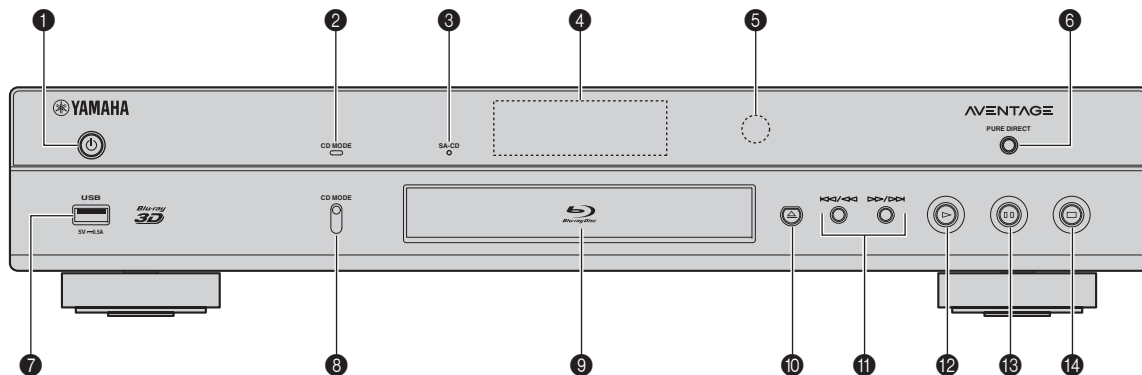
- ディスクのラベル面を上にしてディスクトレイにセットしてください。
- 両面にデータが記録されているディスクを再生する場合は、再生したい面を下に向けてください。



- ディスクによっては読み込みに時間がかかる場合があります。

## 各部の名称

### 前面



#### ① 電源キー

本機の電源を入/切（スタンバイ）します。

#### ② CD MODE 表示

CD モードが有効なときに点灯します（27 ページ）。

#### ③ SA-CD 表示

スーパーオーディオ CD（SA-CD）をディスクトレイにセット時、SA-CD 層（11 ページ）が選ばれている場合に点灯します。

#### ④ 前面ディスプレイ

各種情報が表示されます。

#### ⑤ リモコン信号受光部

リモコンの信号を受信します（4 ページ）。

#### ⑥ PURE DIRECT（ピュアダイレクト）キー

ピュアダイレクトを有効/無効にします（27 ページ）。

#### ⑦ USB 端子

USB メモリーを接続します（18 ページ）。

#### ⑧ CD MODE スイッチ

CD モードを有効/無効にします（27 ページ）。

#### ⑨ ディスクトレイ

ディスク再生時にディスクをセットします（7 ページ）。

#### ⑩ △（トレイ開閉）キー

ディスクトレイを開閉します（7 ページ）。

#### ⑪ ◀◀/▶▶、▶▶/▶▶（スキップ/サーチ）キー

再生中のコンテンツの先頭（繰り返し押し続けると前のコンテンツ）/ 次のコンテンツにスキップします。押し続けると、早戻し/早送りします。

#### ⑫ ▷（再生）キー

再生を始めます。

#### ⑬ ◻◻（一時停止）キー

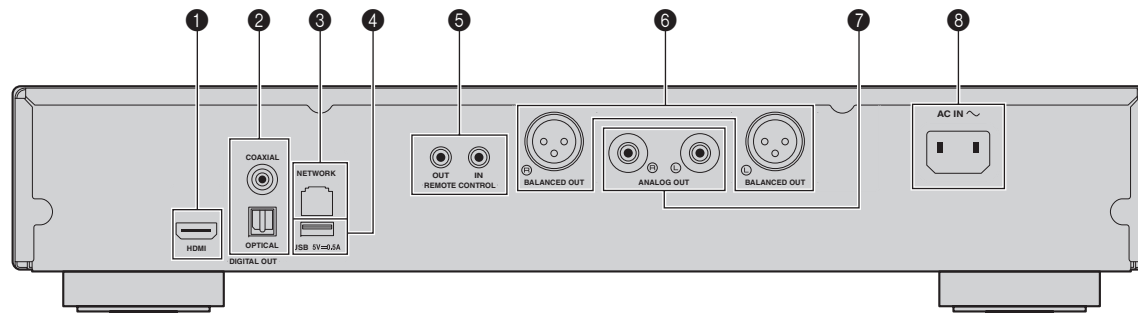
再生を一時停止します。

#### ⑭ ◻（停止）キー

再生を停止します。

・ 前面パネルの保護シートをはがしてからお使いください。





#### ① HDMI 端子

HDMI 入力対応のテレビや AV レシーバーを接続し、映像 / 音声を出力します (14 ページ)。

#### ② DIGITAL OUT (デジタルアウト) 端子

##### COAXIAL (コアキシャル) 端子

同軸デジタル入力を持つ外部機器を接続し、音声を出力します (14 ページ)。

##### OPTICAL (オプティカル) 端子

光デジタル入力を持つ外部機器を接続し、音声を出力します (14 ページ)。

#### ③ NETWORK (ネットワーク) 端子

ネットワークケーブルを使って本機をネットワークに接続します (16 ページ)。

#### ④ USB 端子

USB メモリーを接続します (18 ページ)。

#### ⑤ REMOTE CONTROL (リモートコントロール) 端子

リモート接続対応のヤマハ製機器を接続し、リモコン信号を転送します (18 ページ)。

#### ⑥ BALANCED OUT (バランスアウト) 端子

アナログステレオ入力 (XLR) を持つ外部機器を接続し、音声を出力します (15 ページ)。

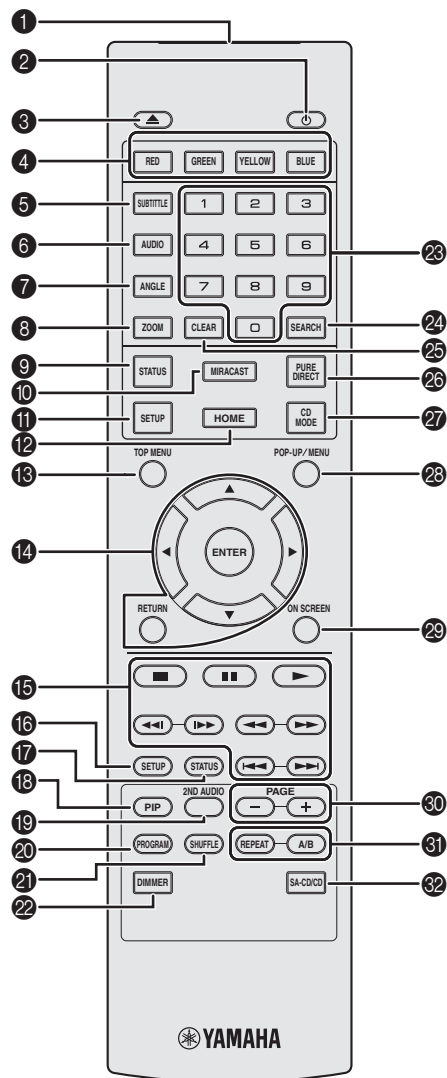
#### ⑦ ANALOG OUT (アナログアウト) 端子

アナログステレオ入力 (RCA) を持つ外部機器を接続し、音声を出力します (14 ページ)。

#### ⑧ IN (AC イン) 端子

電源コードを接続します (19 ページ)。

# リモコン



- ・ディスクやファイルによっては、一部またはすべての機能が使用できない場合があります。
- ・操作できないキーを押した場合、画面の左上に「Ⓢ」が表示されます。
- ・一部の機能はテレビ画面（オンスクリーンメニューなど）でも操作できます。

## 1 リモコン信号送信部

赤外線を送信します。

## 2 電源（電源）キー

本機の電源を入/切（スタンバイ）します。

## 3 トレイ開閉（トレイ開閉）キー

ディスクトレイを開閉します（7ページ）。

## 4 カラー（RED/GREEN/YELLOW/BLUE）キー **BD**

ブルーレイディスクの画面操作時に使用します。

## 5 SUBTITLE（サブタイトル）キー

**BD DVD VIDEO**

ディスクに収録されている字幕言語を切り替えます（31ページ）。

## 6 AUDIO（オーディオ）キー **BD DVD VIDEO**

ディスクに収録されている音声言語や音声フォーマットを切り替えます（31ページ）。

## 7 ANGLE（アングル）キー **BD DVD**

ディスクに収録されているカメラアングルを切り替えます（31ページ）。

## 8 ZOOM（ズーム）キー **DVD VIDEO PHOTO**

画像の表示倍率を切り替えます。

## 9 STATUS（ステータス）キー

テレビ画面に再生情報（再生時間など）を表示します（33ページ）。

## 10 MIRACAST（ミラキャスト）キー

MIRACASTを使用する際に押します（38ページ）。

## 11 SETUP（セットアップ）キー

テレビ画面に設定メニューを表示します（40ページ）。

## 12 HOME（ホーム）キー

テレビ画面にホームメニューを表示します（24ページ）。

## 13 TOP MENU（トップメニュー）キー **BD DVD**

ディスクのトップメニュー画面を表示します（23ページ）。

## 14 メニュー操作キー

- カーソルキー      メニューや設定値を選びます。
- ENTER（エンター）キー      選択項目を確定します。
- RETURN（リターン）キー      メニュー操作中に、1つ前の表示に戻します。

## 15 再生操作キー

**BD DVD CD VIDEO MUSIC PHOTO**

- （停止）キー      再生を停止します。
- （一時停止）キー      再生を一時停止します。
- ▶（再生）キー      再生を始めます。
- ◀◀/▶▶（インスタントリプレイ/サーチ）キー

10秒前/30秒後の再生地点にスキップします。

写真の再生中は機能しません。

◀◀/▶▶（サーチ）キー

早戻し/早送りします。押すたびに早戻し/早送りの速さが切り替わります。▶キーを押すと、通常の再生に戻ります。写真の再生中は、スライドショー再生の速さが切り替わります。

◀◀/▶▶（スキップ）キー

再生中のコンテンツの先頭（繰り返し押すと前のコンテンツ）/次のコンテンツにスキップします。

## 16 SETUP（セットアップ）キー

テレビ画面に設定メニューを表示します（40ページ）。

**17 STATUS (ステータス) キー**

テレビ画面に再生情報 (再生時間など) を表示します (33 ページ)。

**18 PIP キー **BD****

ブルーレイディスクの第 2 映像 (Picture in Picture) を有効 / 無効にします (35 ページ)。

**19 2ND AUDIO (セカンドオーディオ) キー **BD****

ブルーレイディスクの第 2 音声 (Secondary Audio) を有効 / 無効にします (35 ページ)。

**20 PROGRAM (プログラム) キー **DVD** **CD****

プログラム再生の再生順を設定します (28 ページ)。

**21 SHUFFLE (シャッフル) キー**

**DVD** **CD** **VIDEO** **MUSIC** **PHOTO**

シャッフル再生の方法を選びます (29 ページ)。

**22 DIMMER (ディマー) キー**

前面ディスプレイの明るさを 4 段階で切り替えます。

**23 数字キー**

再生する曲やチャプターを指定する場合など、数値を入力します。

**24 SEARCH (サーチ) キー**

**BD** **DVD** **CD** **VIDEO** **MUSIC** **PHOTO**

再生中に視聴したい箇所を指定します (30 ページ)。

**25 CLEAR (クリアー) キー**

入力した数値や設定を取り消します。

**26 PURE DIRECT (ピュアダイレクト) キー**

ピュアダイレクトを有効 / 無効にします (27 ページ)。

**27 CD MODE (CD モード) キー**

CD モードを有効 / 無効にします (27 ページ)。

**28 POP-UP/MENU (ポップアップメニュー) キー**

**BD** **DVD**

ブルーレイディスクのポップアップメニュー画面、または DVD のディスクメニュー画面を表示します (23 ページ)。

**29 ON SCREEN (オンスクリーン) キー**

テレビ画面にオンスクリーンメニューを表示します (32 ページ)。

**30 PAGE (ページ) キー**

コンテンツ (ファイルなど) を選択する画面のページを切り替えます。

**31 REPEAT (リピート) キー**

**BD** **DVD** **CD** **VIDEO** **MUSIC** **PHOTO**

リピート再生の方法を選びます (29 ページ)。

A/B キー **BD** **DVD** **CD** **VIDEO** **MUSIC**

A-B リピート再生で繰り返し再生する範囲を指定します (30 ページ)。

**32 SA-CD/CD キー**

SA-CD/CD ハイブリッドレイヤーディスク (7 ページ) を再生する際のレイヤー (SA-CD 層または CD 層) を切り替えます。

(ディスクトレイにディスクがセットされているときは操作できません。)

**◆ リモコン ID を変更する**

複数のヤマハ製機器お使いの場合、本機のリモコンを操作すると別の機器が同時に動いたり、ほかのリモコンを操作すると本機が動いたりすることがあります。このような場合は、それぞれのリモコンで各機器を操作するために、リモコン ID を変更してください。

初期設定では、本機 (リモコンおよび本体) は「ID1」に設定されています。

**1 本機で再生を行っている場合は、再生を停止する。**





ディスクトレイにディスクがセットされている場合は、ディスクを取り出します。

**2 リモコンの ID を変更する。**

「ID1」に設定するには、リモコンの RED キー (赤) と数字キー (1) を 7 秒間押し続ける。

「ID2」に設定するには、リモコンの RED キー (赤) と数字キー (2) を 7 秒間押し続ける。

**3 本体の ID を変更する。**

本体前面の   キーと   キーを 2 秒間押し続けると現在の ID が前面ディスプレイに表示されます。

そのまま、さらに 2 秒間押し続けると「ID1」と「ID2」が切り替わります。



- ・リモコンの電池切れ、または電池が入っていない状態が続くと、リモコンの内部メモリーが消去され自動的に「ID1」に戻ります。必要に応じてリモコンの ID を設定し直してください。
- ・本体を初期化すると、本体の ID が「ID1」に戻ります。必要に応じて本体の ID を設定し直してください。

# 準備する

## 映像 / 音声機器を接続する

テレビや AV レシーバーなどの映像 / 音声機器を本機に接続します。



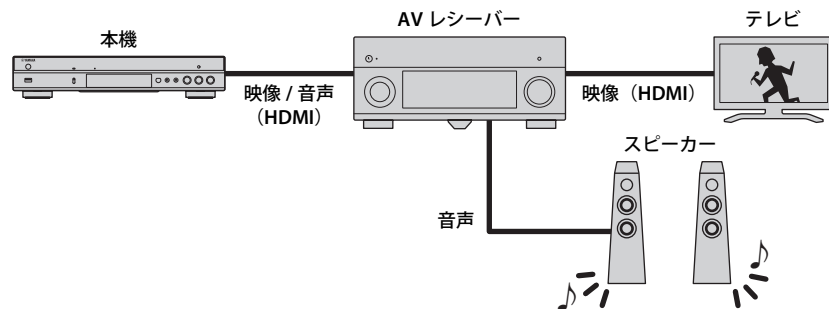
- 外部機器を接続する前に、本機の電源プラグをコンセントから外してください。



- 接続する機器にあわせて、必要なケーブルをご用意ください。
- 本機が出力できる映像 / 音声信号については、「本機の映像 / 音声出力」(55 ページ) をご覧ください。

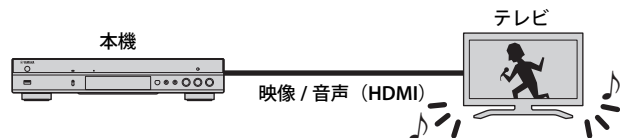
### ◆テレビと AV レシーバーを使って映像 / 音声を楽しむ

「AV レシーバー経由でテレビを接続する」(14 ページ) をご覧ください。



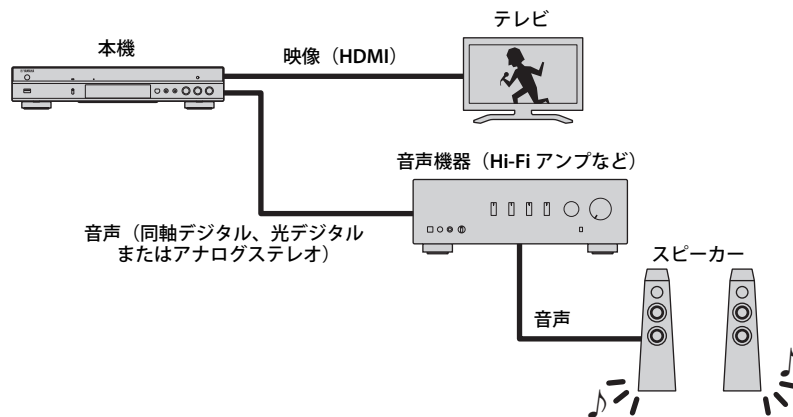
### ◆テレビだけで映像 / 音声を楽しむ

「テレビを接続する」(14 ページ) をご覧ください。



### ◆テレビと別の音声機器を使って映像 / 音声を楽しむ

「テレビ / 音声機器を接続する」(14 ページ) をご覧ください。



#### HDMI コントロール

HDMI ケーブルを使って、HDMI コントロール対応のテレビや AV レシーバーを本機と接続すると、テレビや本機の操作に連動して別の機器を操作できます。

- 本機で再生を始めると、テレビや AV レシーバーが本機からの入力に切り替わる。
- テレビの電源を切ると、本機の電源も切れる（再生中や設定メニュー表示中を除く）。

HDMI コントロールを使用するには、設定メニューの「HDMI コントロール」(43 ページ) を「オン」に設定してください。HDMI コントロールの設定方法については、お使いのテレビや AV レシーバーの取扱説明書をご覧ください。

#### ブルーレイ 3D ディスクの再生について

本機はブルーレイ 3D ディスクの再生に対応しています。3D 映像を楽しむには、設定メニューの「3D 出力」(48 ページ) を「自動」(初期値) に設定してください。なお、本機に接続するテレビや AV レシーバー（AV レシーバー使用時のみ）も 3D に対応している必要があります。

## 出力端子とケーブル

本機は以下の出力端子を装備しています。接続する外部機器側の出力端子に合わせて、必要なケーブルをご用意ください。

### ◆映像 / 音声を出力する端子

#### □ HDMI 端子

デジタル映像およびデジタル音声を伝送します。接続には、HDMI ケーブルを使います。



HDMI ケーブル



- HDMI ロゴ入りの HDMI ケーブル（19 ピン）をお使いください。  
また、信号の品質劣化を防ぐため、長さが 5.0 メートル以下のケーブルをおすすめします。



- HDMI コントロール、3D 映像の伝送に対応しています。
- 3D 映像をお楽しみになる場合は、ハイスピード HDMI ケーブルをお使いください。

### ◆音声を出力する端子

#### □ OPTICAL 端子

デジタル音声を伝送します。接続には、光デジタルケーブルを使います。ケーブルの先端にキャップが付いている場合は、取り外してからお使いください。



光デジタルケーブル

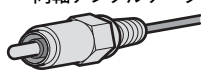


#### □ COAXIAL 端子

デジタル音声を伝送します。接続には、同軸デジタルケーブルを使います。



同軸デジタルケーブル

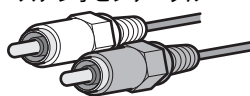


#### □ ANALOG OUT 端子

アナログステレオ音声を伝送します。接続には、ステレオピンケーブルを使います。



ステレオピンケーブル



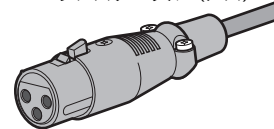
#### □ BALANCED OUT 端子

アナログステレオ音声を伝送します。接続には、XLR バランスケーブルを使います。

ピンどうしをあわせ、XLR バランスケーブルのコネクター（メス）を「カチッ」と音がするまで差し込みます。



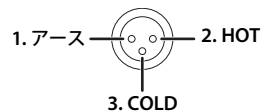
XLR バランスケーブル（メス）



- ケーブルを本機から取り外す際は、コネクターのレバーを押しながら引き抜きます。

#### BALANCED OUT 端子について

- 本機の BALANCED OUT 端子のピン割当は以下のとおりです。  
XLR バランスケーブルを接続する前に、各機器の取扱説明書を参照し、以下のピン割当に対応していることをご確認ください。

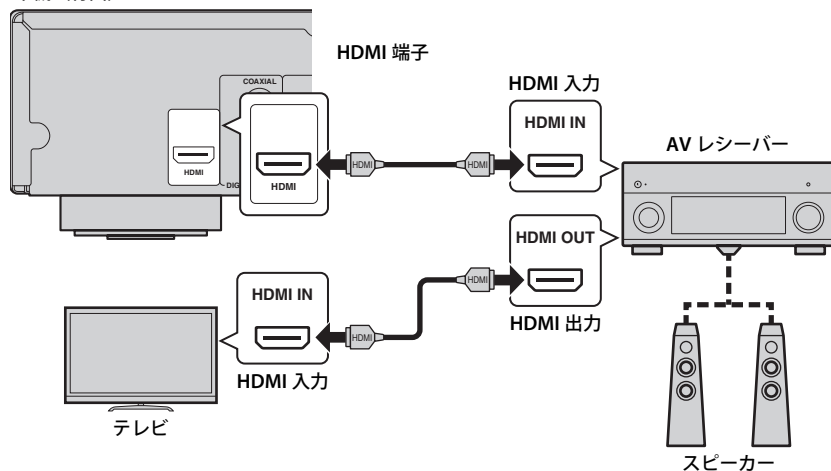


## AV レシーバー経由でテレビを接続する

HDMI ケーブルを使って、本機、AV レシーバー、テレビを接続します。

映像はテレビ、音声は AV レシーバーに接続したスピーカーで楽しむことができます。

本機（背面）

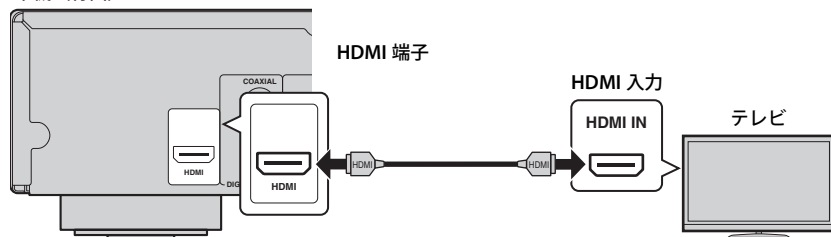


## テレビを接続する

HDMI ケーブルを使って、テレビを本機に接続します。

映像はテレビ、音声はテレビ内蔵のスピーカーで楽しむことができます。

本機（背面）

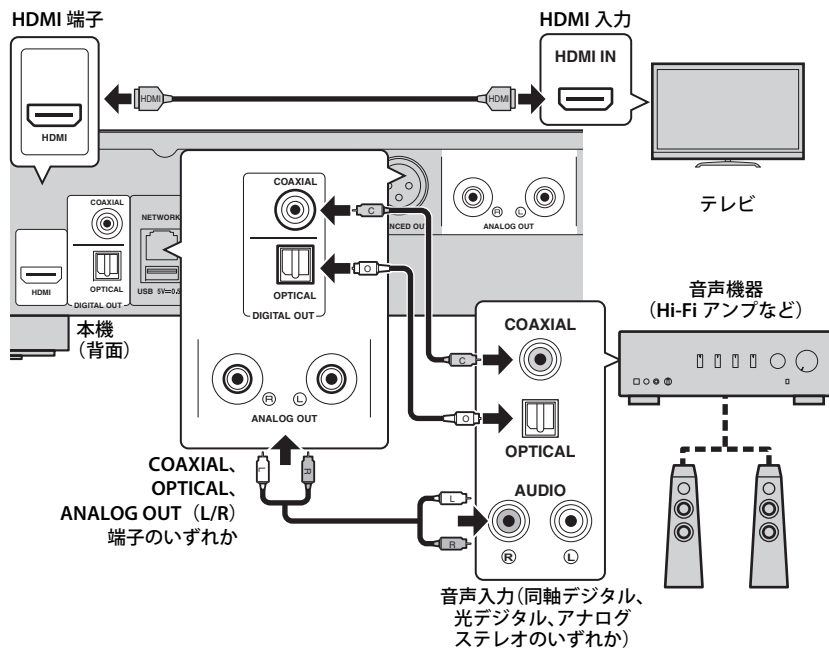


## テレビ / 音声機器を接続する

HDMI ケーブルを使ってテレビを本機に接続し、音声ケーブル（同軸デジタル、光デジタル、ステレオピンケーブルのいずれか）を使って音声機器（Hi-Fi アンプなど）を本機に接続します。

映像はテレビ、音声は音声機器のスピーカーで楽しむことができます。

- ・スーパーオーディオ CD (SA-CD) の音声は、COAXIAL 端子および OPTICAL 端子から出力することはできません。



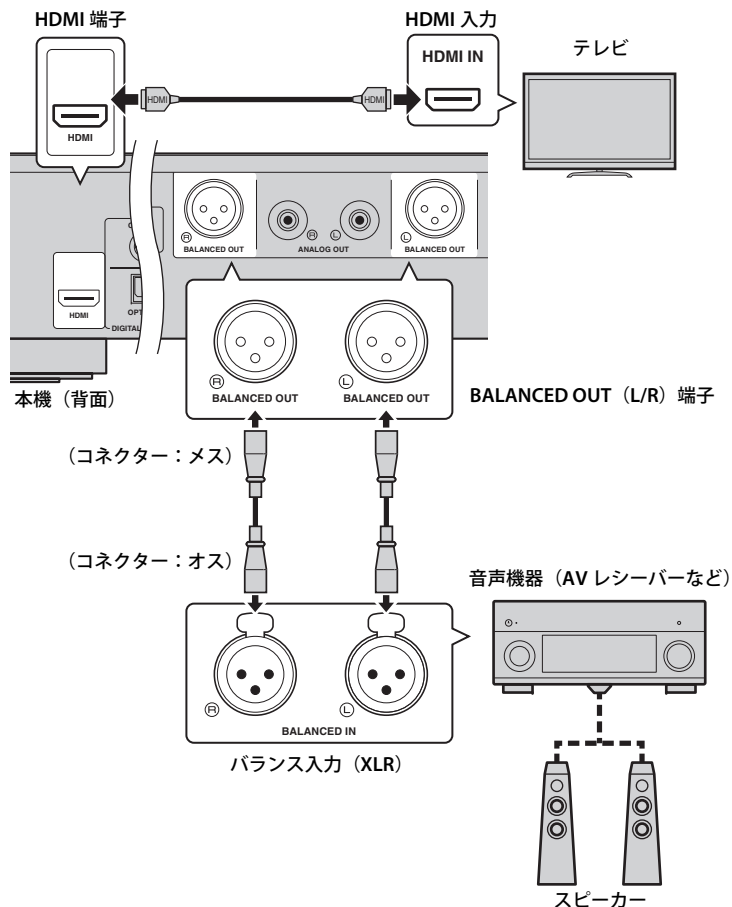
- ・テレビから音声出力される場合は、設定メニューの「オーディオ出力 (HDMI)」(52 ページ) を「オフ」に設定すると、本機からテレビへの音声出力を無効にできます。
- ・設定メニューの「オーディオ出力 (同軸 / 光)」(52 ページ) で COAXIAL 端子と OPTICAL 端子の音声出力フォーマットを設定できます。

## ◆XLR バランス接続

音声機器（AV レシーバーなど）にバランス入力（XLR）端子が備わっている場合は、XLR バランスケーブルを使って、音声機器を本機に接続できます。



- XLR バランスケーブルを接続する前に、音声機器の取扱説明書を参照し、XLR 端子が本機のピン割当に対応していることをご確認ください（13 ページ）。



## ネットワークに接続する

本機を無線または有線（ネットワークケーブル）でルーター（アクセスポイント）に接続すると、以下の機能を利用することができます。

- DLNA サーバー（パソコン / NAS）のコンテンツ（動画、音楽など）を本機で楽しむ（16 ページ）
- BD-Live 対応ディスクを再生する（36 ページ）
- モバイル機器から本機を操作する（AV CONTROLLER）（39 ページ）



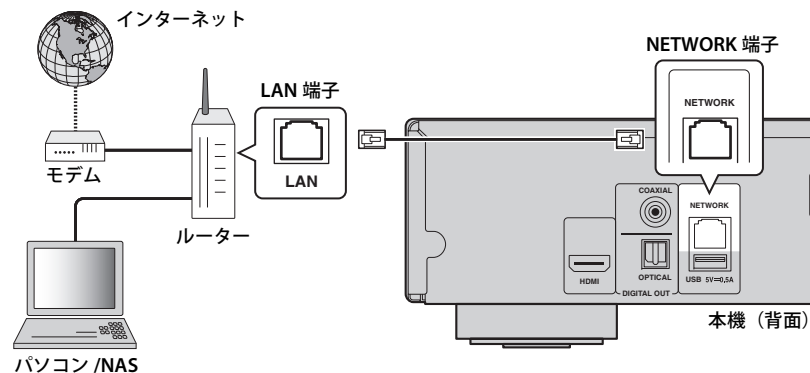
- 10BASE-T/100BASE-TX 対応のルーター（アクセスポイント）およびネットワークケーブルをご使用ください。
- セキュリティソフトや、ネットワーク機器の設定（ファイアウォールなど）により、本機がパソコンにアクセスできないことがあります。その場合はセキュリティソフトやネットワーク機器の設定を変更してください。
- BD-Live 機能を使用する場合は、ブロードバンド回線をご使用ください。



- DHCP サーバー対応のルーターをお使いの場合は、本機でネットワーク設定を行う必要はありません。ネットワーク情報（IP アドレスなど）が自動で割り当てられます。ルーターが DHCP サーバー非対応の場合や、ネットワーク情報を手動で割り当てる場合は、設定メニューの「IP アドレス設定」（46 ページ）で設定を行ってください。

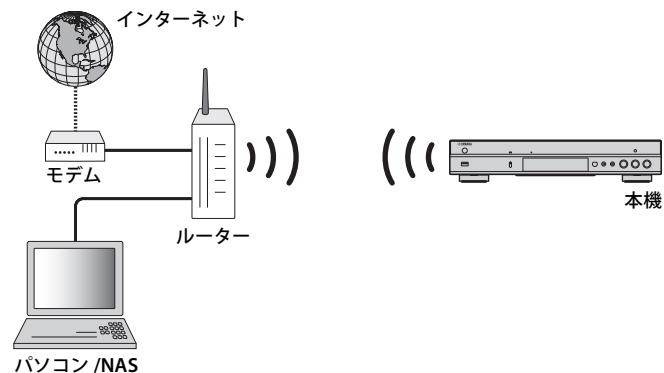
## 有線接続

市販の STP ネットワークケーブル（CAT-5 以上のストレートケーブル）を使って、本機をルーターに接続します。



## 無線接続

本機とルーターを無線で接続する場合は、すべての接続が完了してから無線の接続設定を行ってください（21 ページ）。



## DLNA

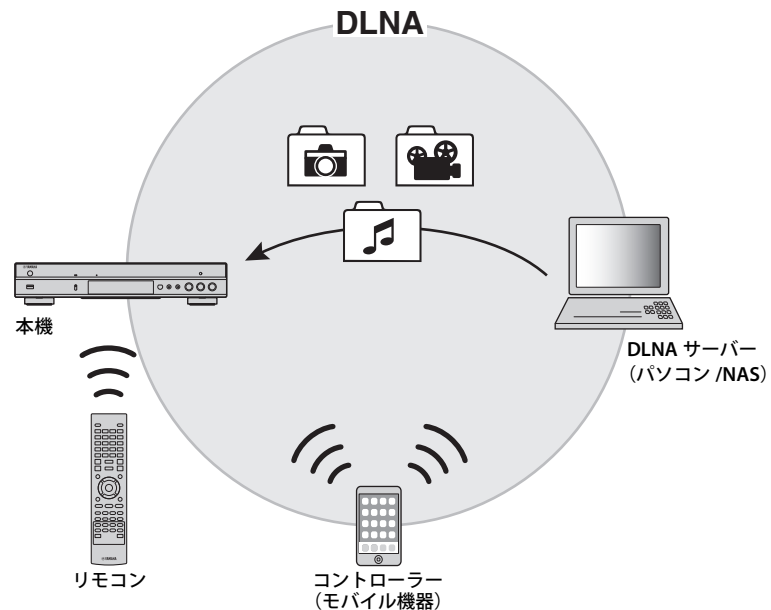
DLNA を使用すると、DLNA サーバー（パソコンや NAS）に保存されているメディアファイル（動画、音楽、写真など）をネットワーク経由で共有し、本機で再生することができます。

また、モバイル機器（スマートフォン、タブレットなど）を使って再生するファイルを選ぶことも可能です。

これらの機能を使用するには、ネットワーク接続や電源コードの接続が完了してから、DLNA サーバーでメディアの共有設定を行ってください。



- この機能を使用するには、本機と DLNA サーバー（パソコン / NAS）が同じネットワークに接続されている必要があります。
- NAS を DLNA サーバーとして使用する場合は、お使いの NAS が DLNA に対応していることをご確認ください。





## ◆メディアの共有設定を行う

DLNA サーバー（パソコン /NAS）に保存されているメディアファイル（動画、音楽、写真など）を本機で再生するには、DLNA サーバーで本機とのメディア共有を有効にする必要があります。



- メディアの共有設定について詳しくは、パソコン /NAS や DLNA サーバーソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

- 1 DLNA サーバーと本機の電源を入れる。
- 2 パソコンを DLNA サーバーとして使用する場合は、パソコンに DLNA サーバーソフトウェア（Windows Media Player 12 など）がインストールされていることを確認する。
- 3 DLNA サーバーで、メディアの共有を有効にし、本機との共有を許可する。  
設定が完了すると、本機のホームメニュー（24 ページ）から、DLNA サーバーに保存されているメディアファイルが選べるようになります。

## ◆モバイル機器で再生ファイルを選ぶ

お使いのモバイル機器（スマートフォン、タブレットなど）にデジタル・メディア・コントローラー（DMC）対応アプリケーションがインストールされている場合、それらのアプリケーションを使って DLNA サーバーに保存されたメディアファイルを選択し、本機で再生できます。

デジタル・メディア・コントローラー（DMC）の操作方法については、アプリケーションやモバイル機器の取扱説明書をご覧ください。



- この機能を使用するには、モバイル機器が本機や DLNA サーバー（パソコン /NAS）と同じネットワークに接続されている必要があります。



- モバイル機器から操作するには、設定メニューの「DMC コントロール」（47 ページ）を「使用する」（初期値）に設定してください。

## ◆Wi-Fi Direct を使って DLNA 再生を楽しむ

Wi-Fi Direct（ワイファイダイレクト）（27 ページ）を使用すると、モバイル機器と本機を直接接続して、モバイル機器のコンテンツを DLNA 再生で楽しむことができます。



- この機能を使用するには、モバイル機器に DLNA サーバーおよびデジタル・メディア・コントローラー（DMC）対応アプリケーションがインストールされている必要があります。

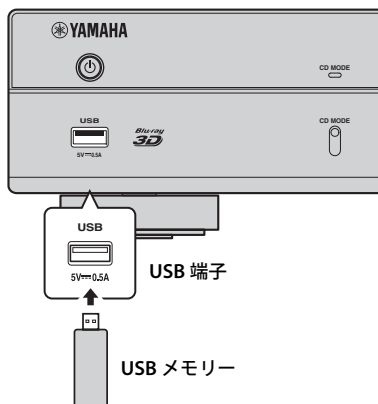
## USB メモリーを接続する

USB メモリーを使用すると、USB メモリーに保存されているメディアファイル（動画、音楽、写真など）を本機で再生することができます（24 ページ）。

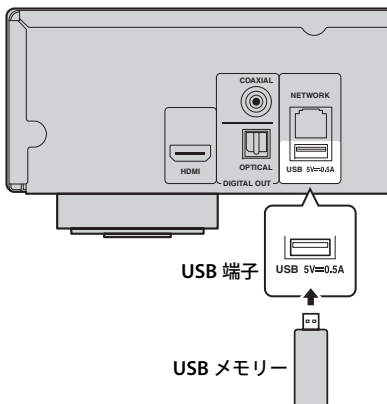


- 本機は FAT16、FAT32、NTFS フォーマットの USB メモリー（マストストレージクラス）に対応しています。
- USB メモリーのメーカーやモデルによっては、USB メモリーや保存ファイルが本機で認識されない場合があります。
- USB 延長ケーブルを使用しないでください。本機が正しく動作しない場合があります。
- BD-Live 機能（36 ページ）を使用するには、USB メモリーを USB 端子（前面または背面）に接続する必要があります。

本機（前面）



本機（背面）



## その他の機器を接続する

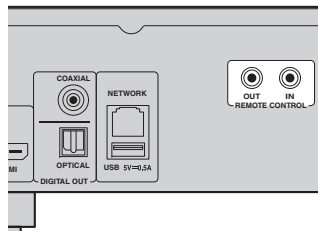
### リモート接続対応のヤマハ製機器を接続する

本機のようにリモート接続に対応している別のヤマハ製機器をお使いの場合は、モノラルミニプラグケーブルを使って各機器の REMOTE CONTROL（IN/OUT）端子を接続すれば、リモコン信号を転送できます。

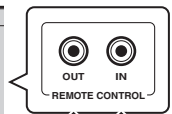


- 各機器を接続する前に、本機の電源プラグをコンセントから外してください。

本機（背面）

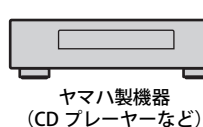


REMOTE CONTROL（IN/OUT）端子



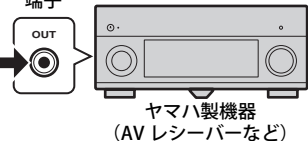
リモコン信号

REMOTE CONTROL（IN）端子



ヤマハ製機器  
（CD プレーヤーなど）

REMOTE CONTROL（OUT）端子



ヤマハ製機器  
（AV レシーバーなど）

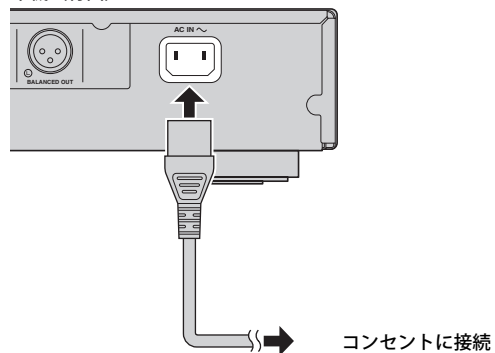


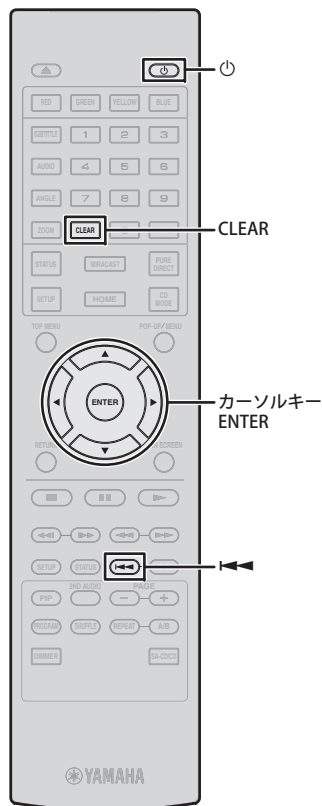
- シーン連動再生（リモート接続経由）に対応しているヤマハ製 AV レシーバーをお使いの場合、AV レシーバーの操作と連動して本機の再生を開始することができます。詳しくは、AV レシーバーの取扱説明書をご覧ください。

## 電源コードを接続する

すべての接続が完了したら、付属の電源コードを本機に接続し、電源プラグをコンセントに差し込みます。

本機（背面）



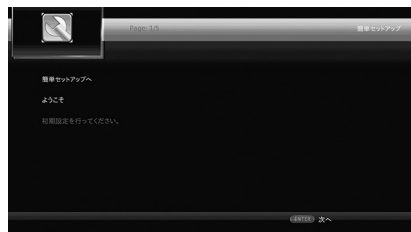


## 初期設定を行う

### 簡単セットアップを実行する

初めて本機の電源を入れた場合は、簡単セットアップ画面が表示されます。簡単セットアップでは、表示言語、解像度、画面サイズをかんたんに設定できます。

- 1 電源 (電源) キーで本機の電源を入れる。
- 2 テレビの電源を入れ、テレビ側の入力を本機からの映像に切り替える。  
AV レシーバーを使用している場合は、AV レシーバーの入力を本機に切り替えてください。
- 3 簡単セットアップ画面が表示されたら、ENTER キーを押す。



- 4 カーソルキーと ENTER キーで表示言語、解像度、画面サイズを選ぶ。



- 前の画面に戻るには、◀◀ キーを押します。

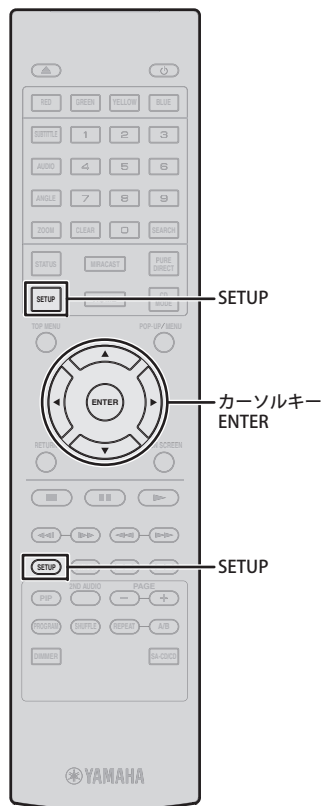
- 5 設定が完了したら、ENTER キーを押す。



- 簡単セットアップは、設定メニューの「簡単セットアップ」(44 ページ) から実行することもできます。
- 2 回目以降は電源を入れたあと、3D 再生に関するメッセージ (44 ページ) が表示されます。ENTER キーを押すとメッセージが消えます (CLEAR キーを押すと次回以降は表示されなくなります)。



- 簡単セットアップ実行後に映像が表示されなくなった場合は、「故障かな? と思ったら (映像)」(59 ページ) をご覧ください。



## 無線接続を設定する

本機とルーターを無線で接続するには、以下の手順を実行します。  
ネットワークケーブルを使って接続している場合は、この設定は必要ありません。

### 1 SETUP キーを押して設定メニュー画面を表示する。



### 2 カーソルキーと ENTER キーで「一般設定」→「ネットワーク」→「接続設定」→「ワイヤレス」の順に選ぶ。



### 3 カーソルキー (◀/▶) で「はい」を選び、ENTER キーを押す。



### 4 カーソルキー (▲/▼) で接続方法を選んでから、カーソルキー (◀/▶) で「次へ」を選び、ENTER キーを押す。



以下の接続方法から選びます。

サーチ	検索したアクセスポイント一覧から接続先を選び、パスワードを入力します。
マニュアル	必要な情報 (SSID など) を手動で入力します。
自動	WPS 機能に対応している無線ルーター (アクセスポイント) を使用時に、ルーターの WPS ボタンまたは PIN コード入力を使って無線接続を設定します。 WPS ボタンを使用する場合は「PBC」、PIN コードを使用する場合は「PIN」を選び、画面指示に従って操作してください。

接続が完了すると、画面に「ネットワークに接続できました。」と表示されます。

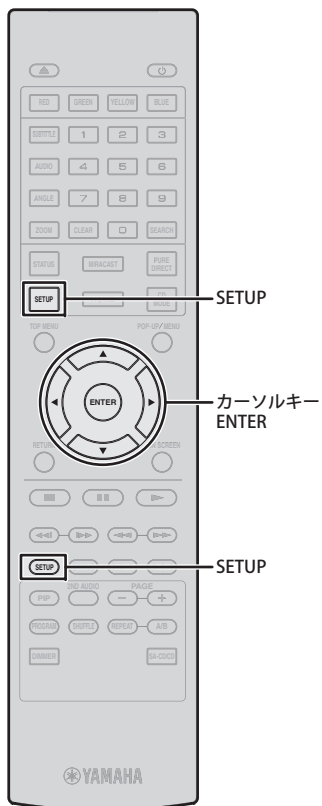
「接続失敗」と表示された場合は、手順 2 からやり直さか、別の接続方法をお試しください。



- 無線ルーター (アクセスポイント) の取扱説明書もあわせてご参照ください。
- 本機と無線ルーター (アクセスポイント) が離れていると接続できないことがあります。その場合は、本機と無線ルーターを近づけてください。

#### WPS とは

WPS (Wi-Fi Protected Setup) とは、Wi-Fi Alliance によって策定された規格です。WPS により、無線ネットワークを簡単に設定できます。



## 本機のソフトウェアを更新する

機能の追加や不具合の改善に応じて、本機のソフトウェアが更新されることがあります。本機の性能を最大限活用するため、ソフトウェアは定期的に更新することをおすすめします。



- 設定メニューの「システム情報」(54 ページ) で、本機にインストールされているソフトウェアのバージョンを確認できます。

### 1 最新ソフトウェアを準備する。

#### USB メモリーを使用する場合：

本機のソフトウェアを弊社ウェブサイトからダウンロードし、USB メモリーの適切なフォルダーに保存してから、USB メモリーを本機の USB 端子に接続してください。

#### ネットワーク経由で更新する場合：

インターネットに接続されている場合は更新ソフトウェアがある場合にメッセージが表示されます (44 ページ)。本機のソフトウェアが自動的にダウンロードされるので、手順 2 に進んでください。

### 2 SETUP キーを押して設定メニュー画面を表示する。

### 3 カーソルキーと ENTER キーで「一般設定」→「システム」→「ソフトウェア更新」の順に選ぶ。



### 4 カーソルキー (▲/▼) で「USB ストレージ」または「ネットワーク」を選び、ENTER キーを押す。



### 5 画面指示にしたがってソフトウェアの更新を実行する。

ソフトウェア更新が完了すると、本機が自動的に再起動します。

# 再生する

## 再生の基本操作

### 市販のディスクを再生する

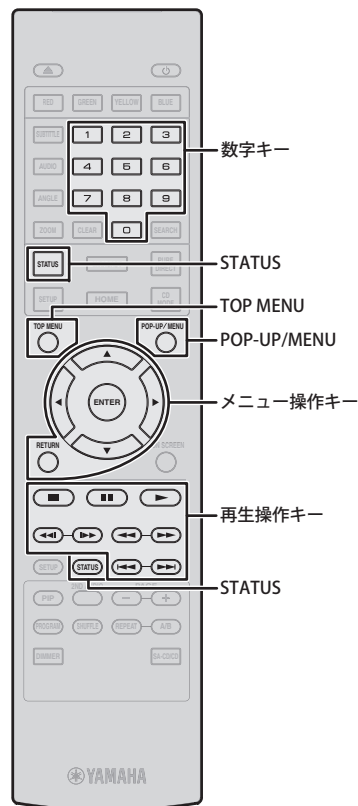
市販のブルーレイディスク、DVD、CD を再生します。

#### 1 ディスクトレイにディスクをセットする。

自動再生機能により、再生が自動的に始まります。

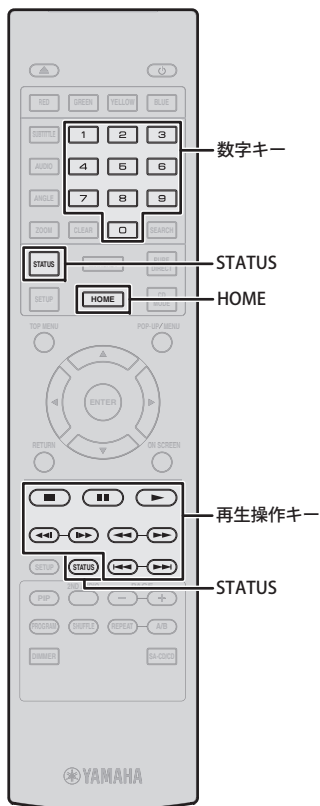


- 自動的に再生が始まらない場合は、▶（再生）キーを押してください。
- 一部のブルーレイディスクや DVD では、最初にディスクのトップメニュー画面が表示されます。
- ディスクによっては、一部の機能が使用できなかったり、説明と異なって動作したりすることがあります。
- 再生可能なファイルの種類は「ディスクとファイルについて」(6 ページ) をご覧ください。



### ◆ブルーレイディスク/DVDの再生操作に使用するリモコンキー

使用できるリモコンキー	説明
■	再生を停止します。
■ ■	再生を一時停止します。
▶	再生を始めます。
◀◀/▶▶	10 秒前 / 30 秒後の再生地点にスキップします。
再生操作キー	
◀◀/▶▶	早戻し / 早送りします。押すたびに早戻し / 早送りの速さが切り替わります。
◀◀◀/▶▶▶	再生中のチャプターの先頭（繰り返し押しと前のチャプター） / 次のチャプターにスキップします。
数字キー	再生中に押すと、選んだ番号のチャプターを再生します。
STATUS キー	再生情報（33 ページ）を表示します。
カーソルキー	コンテンツ（チャプターなど）を選びます。
メニュー操作キー	
ENTER キー	選択を確定します。
RETURN キー	前の画面に戻ります。
TOP MENU キー	ディスクのトップメニュー画面を表示します。
POP-UP/MENU キー	ブルーレイディスクのポップアップメニュー画面、または DVD のディスクメニュー画面を表示します。



## ◆CD の再生操作に使用するリモコンキー

使用できるリモコンキー	説明
	再生を停止します。
	再生を一時停止します。
	再生を始めます。
	10 秒前 / 30 秒後の再生地点にスキップします。
	早戻し / 早送りします。押すたびに早戻し / 早送りの速さが切り替わります。
	再生中の曲の先頭（繰り返し押しすると前の曲） / 次の曲にスキップします。
数字キー	再生中に押すと、選んだ番号の曲を再生します。
STATUS キー	再生情報（33 ページ）を表示します。

## 動画 / 音楽ファイルを再生する

自作ディスク（DVD-R/RW など）、USB メモリー、DLNA サーバー（パソコン / NAS）に保存した動画 / 音楽ファイルを再生します。



- 再生可能なファイルの種類は「ディスクとファイルについて」（6 ページ）をご覧ください。

### 1 目的に応じて、以下の操作をします。

**ディスクのファイルを再生する場合：**

ディスクトレイにディスクをセットする。

**USB メモリーのファイルを再生する場合：**

USB 端子に USB メモリーを接続する。

**DLNA サーバーのファイルを再生する場合：**

DLNA サーバーの電源が入っていて、ネットワークに接続されていることを確認する。

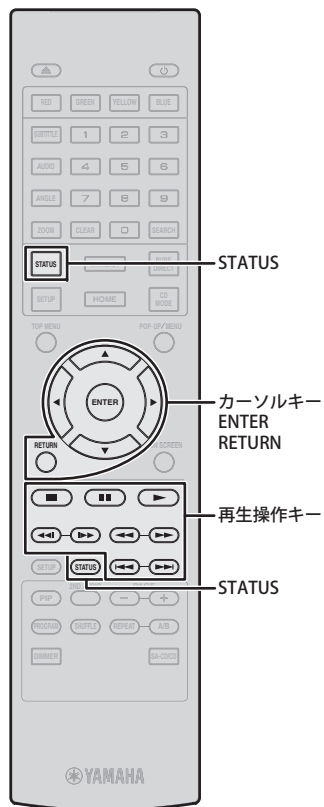
### 2 HOME キーを押す。

本機のホームメニューが表示されます。

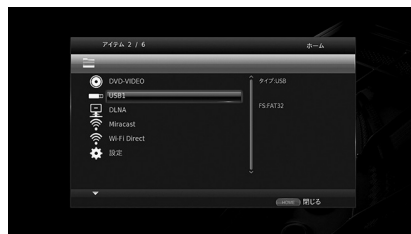


- 市販のブルーレイディスク、DVD、音楽 CD、動画ファイルの再生中はホームメニューを表示できません。再生を停止してから HOME キーを押してください。






**3** カーソルキー（▲/▼）でディスク、USB、または DLNA を選び、ENTER キーを押す。



**4** カーソルキー（▲/▼）で「音楽」、「動画」または「AVCHD」を選び、ENTER キーを押す。

手順 3 で DLNA を選択時は、手順 4 の前に DLNA サーバーを選びます。












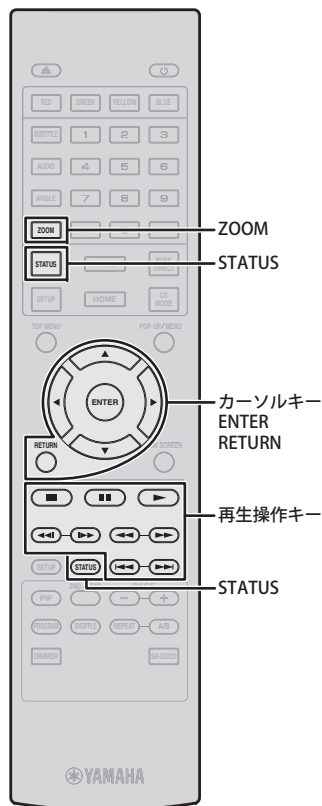
- 前の画面に戻るには、RETURN キーまたはカーソルキー（◀）を押すか、メニュー画面で  を選びます。
- 「AVCHD」とは、高精細なハイビジョン映像を DVD 記録用ディスクなどに撮影記録できるように開発された記録フォーマットです。

**5** カーソルキー（▲/▼）で再生するファイルを選び、ENTER キーを押す。

選択したファイルの再生が始まります。

## ◆ファイルの再生操作に使用するリモコンキー

使用できるリモコンキー	説明
	再生を停止します。
	再生を一時停止します。
	再生を始めます。
再生操作キー  	10 秒前 / 30 秒後の再生地点にスキップします。
 	早戻し / 早送りします。押すたびに早戻し / 早送りの速さが切り替わります。
 	再生中のファイルの先頭（繰り返し押すと前のファイル）/ 次のファイルにスキップします。
STATUS キー	再生情報（33 ページ）を表示します。



## 写真を見る

自作ディスク（DVD-R/RW など）、USB メモリー、DLNA サーバー（パソコン / NAS）に保存した写真を閲覧します。

### 1 「動画 / 音楽ファイルを再生する」（24 ページ）の手順 1 ～ 3 を実行します。



- 市販の静止画 DVD（DVD 写真集など）をディスクトレイにセットすると、スライドショー再生が自動的に始まる場合があります。その場合は以下の手順は必要ありません。

### 2 カーソルキー（▲/▼）で「写真」を選び、ENTER キーを押す。



- 前の画面に戻るには、RETURN キーまたはカーソルキー（◀）を押すか、メニュー画面で ⏮ を選びます。

### 3 カーソルキー（▲/▼）で写真ファイルを選び、ENTER キーを押す。

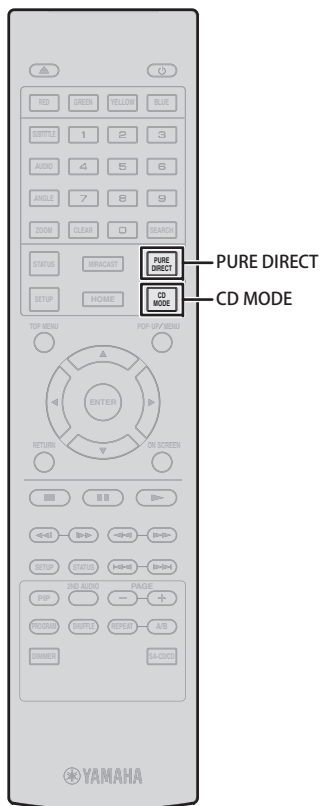
選択したファイルが最初に表示され、その後スライドショー再生が始まります。



- 音楽ファイルの再生中に写真ファイルを選ぶと、音楽を聴きながらスライドショーを楽しむことができます。

## ◆ 写真の再生操作に使用するリモコンキー

使用できるリモコンキー	説明
再生操作キー	■ スライドショー再生を停止します。
	■ スライドショー再生を一時停止します。
	▶ スライドショー再生を始めます。
	◀▶ スライドショー再生の速さを切り替えます。
	◀▶▶ 前の写真 / 次の写真にスキップします。
カーソルキー	▲/▼ 写真を上下 / 左右に反転します。
	◀▶ 写真を左回り / 右回りに 90 度回転します。
ZOOM キー	写真を拡大 / 縮小します。画面より大きいときは、カーソルキーで表示位置を移動できます。
STATUS キー	再生情報（33 ページ）を表示します。



## 高音質な音声を楽しむ

CD モードやピュアダイレクトを使うと、より高音質な音声を楽しむことができます。

CD モードは、音楽 CD やスーパーオーディオ CD（SA-CD）を高音質な音声で再生します。

ピュアダイレクトは、あらゆるソースを原音に充実な音質で再生します。

## 音楽 CD やスーパーオーディオ CD を高音質な音声で楽しむ（CD モード）

### CD

CD モードを使うと、音楽 CD やスーパーオーディオ CD の再生時に本機が以下のように動作し、より高音質な音声を楽しむことができます。

- 使用していない機能（回路）への給電を停止し、ノイズの混入を低減します。
- HDMI 端子からの映像信号出力を制限し、ノイズの混入を低減します。
- （音楽 CD の場合）ディスクの回転速度を下げることでモーターを駆動する電気系統が音声信号に及ぼす影響を軽減し、音質を向上します。

### 1 CD MODE キーを押す。

キーを押すたびに、CD モードが有効 / 無効になります。



- CD モード中は、ディスクの自動再生（23 ページ）は機能しません。
- この機能は、音楽 CD（CDDA）およびスーパーオーディオ CD のみが対象です。別の種類のディスク（ブルーレイディスクなど）の再生時に CD モードを有効にした場合、自動的に再生が停止しディスクが排出されます。
- ディスク以外のメディア（USB、DLNA など）再生時は、CD モードを有効にできません。再生を停止してから、CD モードを有効にしてください。



- 本体前面の CD MODE スイッチでも CD モードを有効 / 無効にできます。CD モードが有効なときは、本体前面の CD MODE 表示が点灯します。
- AV レシーバーを本機の HDMI 端子に接続している場合は、設定メニューの「HDMI（CD モード）」（51 ページ）を「オーディオのみ出力」（初期値）に設定してください。この設定では、CD モード中に HDMI 映像出力が停止し、該当回路からのノイズの混入が軽減されます。
- AV レシーバーを本機の DIGITAL OUT 端子、ANALOG OUT 端子、BALANCED OUT 端子のいずれかに接続している場合は、設定メニューの「HDMI（CD モード）」（51 ページ）を「オフ」に設定してください。この設定では、CD モード中に HDMI 関連の回路（映像 / 音声）が停止し、より高音質な音声を楽しめます。

## 映画や音楽を原音に忠実な音声で再生する（ピュアダイレクト）

ピュアダイレクトを使うと、映像関連や前面ディスプレイを停止させることでノイズの混入を防ぎ、原音に忠実な音質で再生できます。

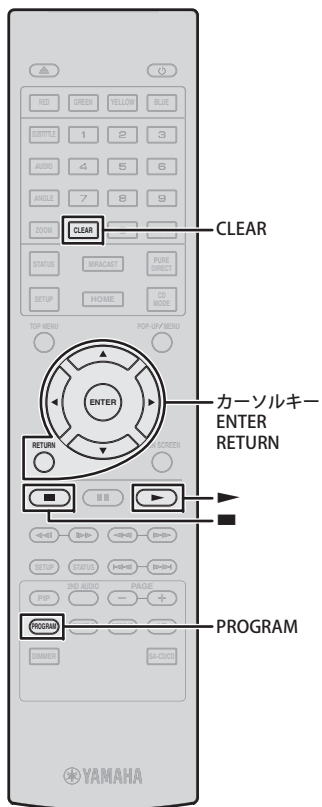
### 1 PURE DIRECT キーを押す。

キーを押すたびに、ピュアダイレクトの設定が切り替わります。

前面ディスプレイ表示	説明
PDIRECT1	ピュアダイレクトを有効にする（モード 1）。 前面ディスプレイおよび映像出力が無効になります。このモードは、高音質で音楽を楽しむのに適しています。
PDIRECT2	ピュアダイレクトを有効にする（モード 2）。 前面ディスプレイが無効になります。このモードは、高音質で映画を楽しむのに適しています。
（表示なし）	ピュアダイレクトを無効にする。



- CD モード中は、ピュアダイレクトが有効（モード 1） / 無効で切り替わります。
- 本体前面の PURE DIRECT キーでもピュアダイレクトの設定を変更できます。ピュアダイレクトが有効なときは、PURE DIRECT キーが点灯します。



## 便利な再生機能

### お好みの順番で再生する（プログラム再生）

**DVD CD**

DVD のチャプターや音楽 CD の曲など、再生順を指定します。  
最大 15 個のチャプター / 曲の再生順を指定できます。



- CD モード (27 ページ) が有効になっているときは、プログラム再生を使用できません。

#### 1 ディスクを再生中に、PROGRAM キーを押す。

プログラム画面が表示されます。



#### 2 ENTER キーを押す。

#### 3 カーソルキーで 1 番目に再生したいチャプター / 曲の番号を指定し、ENTER キーを押す。

DVD 再生時はタイトル / チャプターの番号、CD 再生時は曲番号を指定します。



#### 4 手順 2 ~ 3 を繰り返して、2 番目以降のチャプター / 曲の番号を指定します。



- 登録した内容の一部を消去するには、該当の番号を選び **CLEAR** キーを押します。
- プログラム再生を取り消すには、**RETURN** キーを押します。

#### 5 指定した順で再生を始めるには、▶ キーを押す。



- プログラム再生中に ■ キーを押すと、再生が停止し、指定した再生順がすべて消去されます。



## 順不同で再生する（シャッフル再生）

**DVD** **CD** **VIDEO** **MUSIC** **PHOTO**

再生中のコンテンツを順不同で再生します。

### 1 再生中に、SHUFFLEキーを繰り返し押しして設定値を選ぶ。

ディスク / ファイル	設定値	説明
	(表示なし)	シャッフル再生を無効にする。
	シャッフル CH	タイトル内のチャプターを順不同で一度だけ再生する。
	シャッフル TT	すべてのタイトルを順不同で一度だけ再生する。
<b>DVD</b>	シャッフル All	すべてのチャプターを順不同で一度だけ再生する。
	ランダム CH	タイトル内のチャプターを順不同で繰り返し再生する。
	ランダム TT	すべてのタイトルを順不同で繰り返し再生する。
	ランダム All	すべてのチャプターを順不同で繰り返し再生する。
	(表示なし)	シャッフル再生を無効にする。
<b>CD</b>	シャッフル	すべての曲を順不同で一度だけ再生する。
	ランダム	すべての曲を順不同で繰り返し再生する。
	(表示なし)	シャッフル再生を無効にする。
<b>VIDEO</b>	シャッフル	フォルダー内のファイルを順不同で一度だけ再生する。
<b>MUSIC</b>	ランダム	フォルダー内のファイルを順不同で繰り返し再生する。
<b>PHOTO</b>		



- シャッフル再生を有効にすると、リピート再生は自動的に無効になります。
- DLNA サーバーのファイル再生時は、シャッフル / ランダム再生を設定できません。

## 繰り返し再生する（リピート再生）

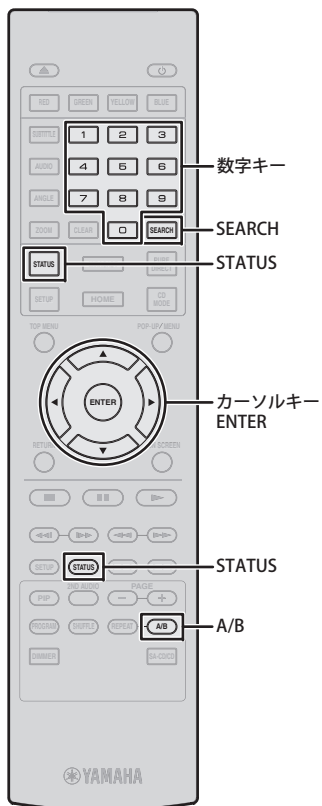
再生中のコンテンツを繰り返し再生します。A-B リピート再生を使うと、指定した範囲を繰り返し再生できます。

### 1 再生中に、REPEATキーを繰り返し押しして設定値を選ぶ。

ディスク / ファイル	設定値	説明
	(アイコンなし)	リピート再生を無効にする。
<b>BD</b>		現在のタイトルを繰り返し再生する。
<b>DVD</b>		現在のチャプターを繰り返し再生する。
	(アイコンなし)	リピート再生を無効にする。
<b>CD</b>		現在の曲を繰り返し再生する。
		すべての曲を繰り返し再生する。
	(アイコンなし)	シャッフル再生を無効にする。
<b>VIDEO</b>		現在のファイルを繰り返し再生する。
<b>MUSIC</b>		
<b>PHOTO</b>		フォルダー内のすべてのファイルを繰り返し再生する。



- リピート再生を有効にすると、シャッフル再生は自動的に無効になります。
- ブルーレイディスクによっては、REPEAT キーが使用できないことがあります。その場合は、オンスクリーンメニューの「モード」(32 ページ) でリピート再生を設定してください。



## ◆ 指定した範囲を繰り返し再生する (A-B リピート再生)

**BD DVD CD VIDEO MUSIC**

タイトルまたは曲の指定した範囲を繰り返し再生します。



• ディスクやファイルによっては、この機能が使用できないことがあります。

**1** 再生中に、A-B リピート再生の開始地点で A/B キーを押す。

**2** A-B リピート再生の終了地点でもう一度 A/B キーを押す。

画面に「A-B」と表示され、指定した範囲が繰り返し再生されます。



• A-B リピート再生を終了して通常再生に戻るには、もう一度 A/B キーを押します。

## 指定した箇所から再生する（サーチ再生）

再生中のコンテンツを指定した箇所までスキップします。

**1** 再生中に、SEARCH キーを押す。

再生情報画面（33 ページ）が表示されます。

**2** カーソルキーで項目を選び、ENTER キーを押す。

ディスク / ファイル	項目	説明
<b>BD</b> <b>DVD</b>		タイトル番号で指定する。
		チャプター番号で指定する。
		タイトルの再生時間で指定する。
<b>CD</b>		チャプターの再生時間で指定する。
		曲番号で指定する。
		曲の再生時間で指定する。
<b>VIDEO</b> <b>MUSIC</b>		ファイル番号で指定する。
		チャプター番号で指定する。
		ファイルの再生時間で指定する。
<b>PHOTO</b>		ファイル番号で指定する。

**3** カーソルキー（▲/▼）または数字キーで数値を入力し、ENTER キーを押す。

指定した箇所から再生が始まります。

**4** 再生情報画面を終了するには、STATUS キーを押す。



## 字幕言語を切り替える

**BD DVD VIDEO**

ディスクに複数の字幕言語が収録されている場合に、字幕を切り替えます。

### 1 再生中に、SUBTITLE キーを繰り返し押す。

字幕言語が切り替わります。



- SUBTITLE キーで切り替わらない場合は、ディスクのメニュー画面から切り替えてください。
- 録画した放送コンテンツの字幕を切り替えることはできません。

## アングルを切り替える

**BD DVD**

ディスクに複数のカメラアングルが収録されている場合に、アングルを切り替えます。

### 1 再生中に、ANGLE キーを繰り返し押す。

アングルが切り替わります。



- ANGLE キーで切り替わらない場合は、ディスクのメニュー画面から切り替えてください。

## 音声言語や音声フォーマットを切り替える

**BD DVD VIDEO**

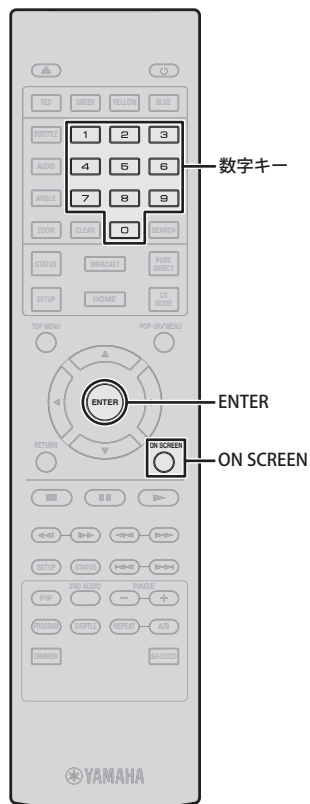
ディスクに複数の音声言語や音声フォーマットが収録されている場合に、音声を切り替えます。

### 1 再生中に、AUDIO キーを繰り返し押す。

音声言語や音声フォーマットが切り替わります。



- AUDIO キーで切り替わらない場合は、ディスクのメニュー画面から切り替えてください。



## テレビ画面で操作する

### 画面で再生操作をする (オンスクリーンメニュー)

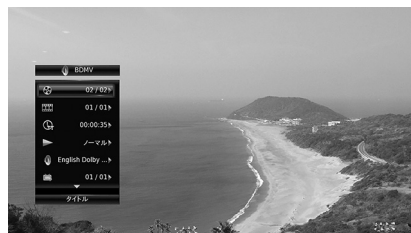
市販のディスク（ブルーレイディスク、DVD、CD）、動画 / 音楽ファイルや写真を再生しているときは、テレビ画面で現在の再生操作を行ったり、再生関連の設定を変更したりすることができます。



・ディスクやファイルによっては、一部の機能が使用できないことがあります。

#### 1 コンテンツを再生中に、ON SCREEN キーを押す。

オンスクリーンメニューが表示されます。以下は市販のブルーレイディスク再生時の表示例です。



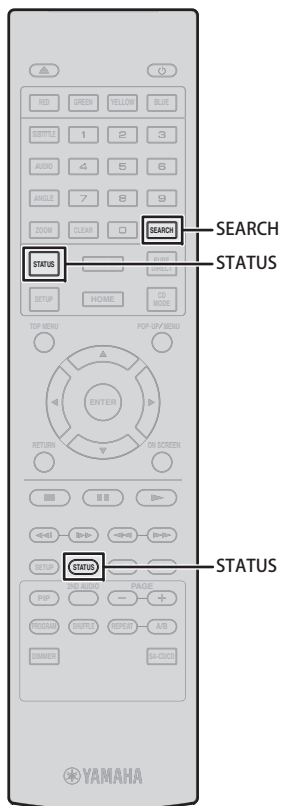
#### 2 カーソルキーで項目を選び、ENTER キーを押す。

選択した項目によっては、数字キーで数値（チャプター番号、曲番号など）を入力することもできます。

タイトル	BD	再生中のタイトル番号が表示されます。再生したいタイトル番号を指定することもできます。
	DVD	
	VIDEO	
チャプター	BD	再生中のチャプター番号が表示されます。再生したいチャプター番号を指定することもできます。
	DVD	
	VIDEO	

トラック / ファイル	CD	再生中の曲 / ファイル番号が表示されます。再生したい曲 / ファイル番号を指定することもできます。
	VIDEO	
	MUSIC	
	PHOTO	
時間	BD	再生時間が表示されます。タイトル、チャプター、ディスク、曲、ファイルの再生経過時間と残り時間を切り替えることもできます。
	DVD	
	CD	
	VIDEO	
モード	MUSIC	再生方法（シャッフル / リピート）が表示されます。シャッフル再生 / リピート再生の有効 / 無効を切り替えることもできます（29 ページ）。 (ブルーレイディスクはリピートのみ対応、DLNA サーバーのファイル再生時は設定不可)
	PHOTO	
	BD	
	DVD	
	CD	
音声	VIDEO	音声言語 / 音声フォーマットが表示されます。音声設定を選択することもできます（31 ページ）。
	MUSIC	
	PHOTO	
アングル	BD	アングル番号が表示されます。アングルを選択することもできます（31 ページ）。
	DVD	
字幕	BD	字幕言語が表示されます。字幕言語を選択することもできます（31 ページ）。
	DVD	
	VIDEO	
字幕スタイル	BD	字幕の文字スタイルが表示されます。文字スタイルを選択することもできます。
2nd ビデオ	BD	第 2 映像 (Picture in Picture) の有効 / 無効を設定します（35 ページ）。
2nd オーディオ	BD	第 2 音声 (Secondary Audio) の有効 / 無効を設定します（35 ページ）。
ビットレート	BD	映像 / 音声信号のビットレートが表示されます。
	DVD	
	CD	
	VIDEO	
	MUSIC	





30 秒サーチ	BD	30 秒後の再生地点にスキップします。
	DVD	
	CD	
	VIDEO MUSIC	
10 秒リプレイ	BD	10 秒前の再生地点に戻ります。
	DVD	
	CD	
	VIDEO MUSIC	
クローズド キャプション	BD	クローズドキャプション（文字情報表示） を設定します（51 ページ）。
	DVD	
	VIDEO	
スライドショー	PHOTO	スライドショー再生の速さが表示されま す。速さを切り替えることもできます。
	PHOTO	
画面切替効果	PHOTO	スライドショー再生で写真が替わるときの 表示方法が表示されます。表示方法を切り 替えることもできます。

## 再生情報を表示する

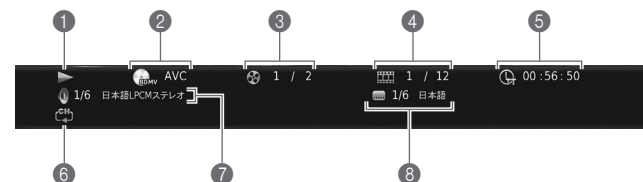
再生に関する情報（現在再生中のチャプター / 曲番号、再生時間など）を表示します。再生しているコンテンツの種類により表示される内容が異なります。

- 1 コンテンツを再生中に、**STATUS** キーを押す。  
再生情報画面が表示されます。

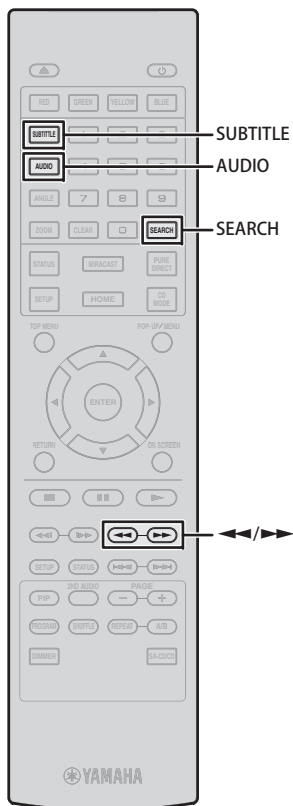


- 音楽の再生を始めると、自動的に再生情報画面が表示されます。
- 再生情報画面を閉じるには、もう一度 **STATUS** キーを押します。

## ◆ 動画の再生情報



- 1 再生状態（再生 / 一時停止など）を表示します。
- 2 BDMV  
ディスクの種類やファイル形式を表示します。
- 3 映画のアイコン  
タイトル番号（再生中の番号 / 総数）を表示します。SEARCH キーで再生したいタイトル番号を指定できます（30 ページ）。
- 4 映画のアイコン / ファイルのアイコン  
チャプターやファイルの番号（再生中の番号 / 総数）を表示します。SEARCH キーで再生したいチャプターやファイルの番号を指定できます（30 ページ）。



- 5 再生時間を表示します。SEARCH キーで再生したい箇所を指定できます (30 ページ)。

- 6 リピート再生の設定 (29 ページ) を表示します。

- 7 音声言語 / 音声フォーマットが表示されます。AUDIO キーで音声設定を選択できます (31 ページ)。

- 8 字幕言語が表示されます。SUBTITLE キーで字幕言語を選択できます (31 ページ)。

## ◆ 音楽の再生情報



- 1 再生状態 (再生 / 一時停止など) を表示します。
- 2 リピート再生の設定 (29 ページ) を表示します。
- 3 ディスクの種類や音楽アイコンを表示します。
- 4 **アルバムアート**  
アルバムアートのデータが存在する場合に、アルバムアートを表示します。

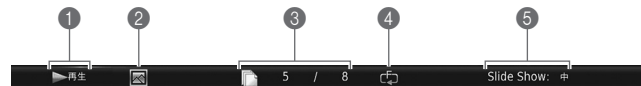
- 5 曲やファイルの番号 (再生中の番号 / 総数) を表示します。SEARCH キーで再生したい曲やファイルの番号を指定できます (30 ページ)。

- 6 **曲情報表示**  
ファイルの種類、曲名、アーティスト名、などの曲情報を表示します。

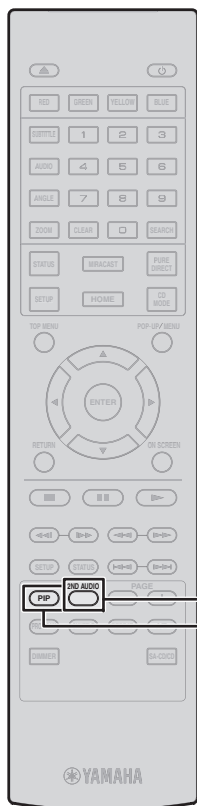
- 7 再生時間を表示します。SEARCH キーで再生したい箇所を指定できます (30 ページ)。

- 8 **プログレスバー**  
曲の再生地点をゲージで表示します。

## ◆ 写真の再生情報



- 1 スライドショー再生の状態 (再生 / 一時停止など) を表示します。
- 2 写真アイコンを表示します。
- 3 ファイル番号 (再生中の番号 / 総数) を表示します。SEARCH キーで再生したい写真のファイル番号を指定できます (30 ページ)。
- 4 リピート再生の設定 (29 ページ) を表示します。
- 5 **スライドショー再生の速さ**  
スライドショー再生の速さを表示します。◀◀/▶▶ キーで速さを切り替えることができます。



## ブルーレイディスクの特殊コンテンツを楽しむ (BONUSVIEW™/BD-Live™)

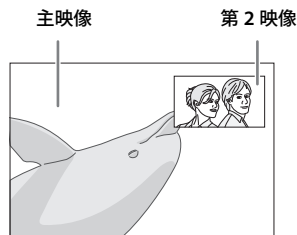
本機はブルーレイディスクの BONUSVIEW (BD-ROM Profile 1 Version 1.1) および BD-Live (BD-ROM Profile 2) に対応しています。




- BONUSVIEW や BD-Live で利用できる機能および再生方法はディスクにより異なります。詳しくは、ディスクの取扱説明書をご覧ください。


### 第 2 映像や第 2 音声を楽しむ (Picture in Picture/Secondary Audio)

Picture in Picture は BONUSVIEW 対応のブルーレイディスクに入っている特典映像を子画面で表示する機能です。主映像を観ながら、画面の隅に表示される第 2 映像を楽しむことができます。また映画の解説など、Secondary Audio (第 2 音声) を楽しむこともできます。



#### 1 BONUSVIEW 対応のブルーレイディスクを再生する。

第 2 映像を表示できるときは、テレビ画面にアイコン「

第 2 音声を出力できるときは、テレビ画面にアイコン「

#### 2 第 2 映像を有効にするには、PIP キーを押す。

第 2 音声を有効にするには、2ND AUDIO キーを押す。



- 第 2 映像または第 2 音声を無効にするには、各キーをもう一度押します。
- テレビ画面のアイコン表示を消したい場合は、設定メニューの「PIP マーク」(45 ページ) または「2nd オーディオマーク」(45 ページ) を「オフ」に設定してください。



- 第 2 音声を聴くには、設定メニューの「オーディオ出力 (HDMI)」(52 ページ) または「オーディオ出力 (同軸 / 光)」(52 ページ) を「PCM」または「再エンコード」に設定してください。
- PIP キーや 2ND AUDIO キーで第 2 映像 / 第 2 音声を有効にできない場合は、ディスクのメニュー画面から設定してください。
- ディスクによっては、第 2 映像 / 第 2 音声が自動的に再生される場合があります。また、再生できる箇所が限定されている場合があります。

## BD-Live™ を楽しむ

BD-Live とは、インターネット経由で特殊映像などのコンテンツをダウンロードし、再生できる機能です。本機がインターネットに接続されていれば、BD-Live 対応のブルーレイディスク再生時に BD-Live を楽しむことができます。

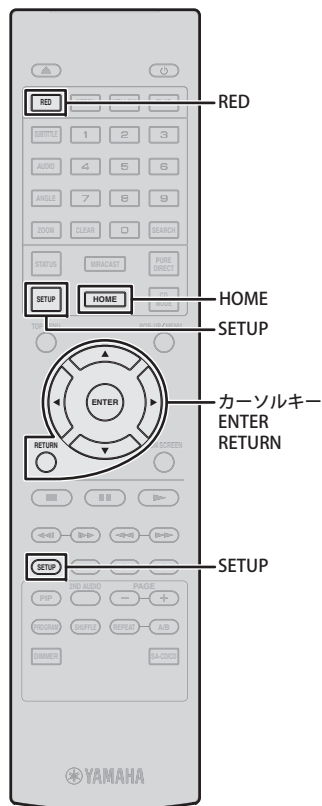
なお、BD-Live を楽しむには、コンテンツを保存するための USB メモリー（ローカルストレージ）が本機の USB 端子（前面または背面）に接続されている必要があります（18 ページ）。



- ブルーレイディスク再生時に、「BUDA」という名称のコンテンツ保存用のフォルダーが USB メモリー内に自動的に作成されます。
- 設定メニューの「BD-LIVE 接続」（47 ページ）で、BD-Live コンテンツへの接続を制限できます。



- USB 2.0 High Speed（480Mbit/s）対応の USB メモリーをお使いください。
- 空き容量が 2.0GB 以上の USB メモリーをお使いください。空き容量が不足しているとコンテンツを保存できません。その場合は、不要なデータを削除するか別の USB メモリーをお使いください。
- BD-Live を使用中に USB メモリーを本機から抜いたり、本機の電源を切ったりしないでください。
- インターネットの接続環境により、コンテンツのダウンロードに時間がかかる場合があります。
- コンテンツプロバイダーの都合により、コンテンツのダウンロードや再生ができない場合があります。その場合は、しばらく経ってから再度お試しください。
- USB メモリーの空き容量が不足していると、ディスクのメニュー画面から BD-Live を起動したときに画面が表示されるまで時間がかかることがあります。その場合は、ディスクトレイからディスクを取り出し、設定メニューの「ローカルストレージ」（44 ページ）で USB メモリーをフォーマットしてください。

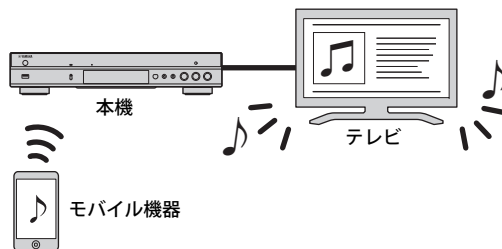


## モバイル機器のコンテンツを DLNA 再生で楽しむ (Wi-Fi Direct)

Wi-Fi Direct (ワイファイダイレクト) を使用すると、ルーターやアクセスポイントなどを経由せずに、モバイル機器と本機を直接無線接続して、モバイル機器のコンテンツを DLNA 再生で楽しむことができます。



- Wi-Fi Direct の対応状況や操作方法については、お使いのモバイル機器の取扱説明書をご覧ください。お使いのモバイル機器が Wi-Fi Direct 非対応の場合は、以下の手順で手動接続を行ってください。
- Wi-Fi Direct を使用しているときは、別のネットワーク機能、ディスク、USB メモリーの再生はできません。



- 1 本機で再生を行っている場合は、再生を停止する。
- 2 本機リモコンの HOME キーを押す。  
本機のホームメニューが表示されます。
- 3 カーソルキー (△/▽) で「Wi-Fi Direct」を選び、ENTER キーを押す。



### 4 以下の手順で Wi-Fi Direct 接続を行う。

**Wi-Fi Direct 対応のモバイル機器をお使いの場合：**

- ① 手順 3 から 2 分以内に、モバイル機器を操作して接続を確立する。

**Wi-Fi Direct 非対応のモバイル機器をお使いの場合：**

- ① RED キーを押して、手動接続モードにする。  
テレビ画面に本機の SSID (識別情報) が表示されます。
- ② モバイル機器の Wi-Fi 設定画面を開き、SSID を入力する。

### 5 本機リモコンの ENTER キーを押し (または 3 秒経過してから)、モバイル機器の DLNA 再生アプリケーションを使って DLNA 再生を始める。



- モバイル機器の DLNA 再生アプリケーションで、デジタル・メディア・レンダラー (DMR) として本機を選んでください。

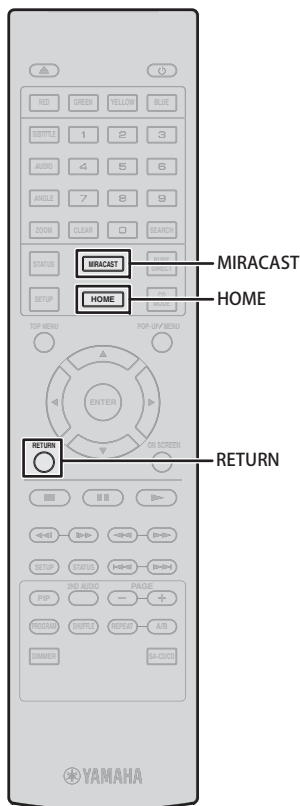
### 6 Wi-Fi Direct 接続を終了するには、本機リモコンの HOME キーを押す。



- SETUP キーまたは RETURN キーでも Wi-Fi Direct 接続を終了できます。



- Wi-Fi Direct 使用中に映像 / 音声途切れたりノイズが入ったりする場合は、以下をお試しください。
  - モバイル機器を本機に近づける。
  - 使用していない別の無線機器の電源を切る。
  - 本機とモバイル機器を、電子レンジやほかの無線機器から遠ざける。

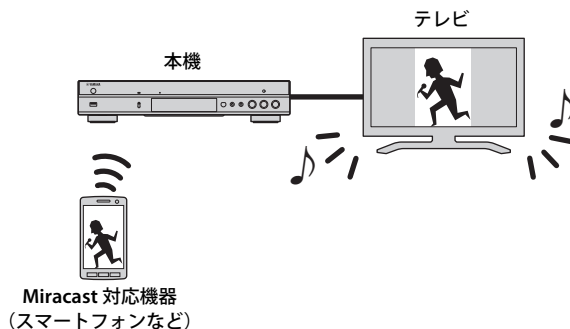


## スマートフォンの動画 / 写真をテレビで楽しむ (Miracast™)

Miracast (ミラキャスト) を使用すると、Miracast 対応機器 (スマートフォンなど) の画面に表示されている動画や映像を、本機に接続したテレビで視聴 (ミラーリング) することができます。



- Miracast の対応状況や操作方法については、お使いの機器 (スマートフォンなど) の取扱説明書をご覧ください。
- Miracast を使用しているときは、ネットワーク機能 (DLNA など) は使用できません。またディスプレイの操作やほかの再生もできません。



**1** 本機で再生を行っている場合は、再生を停止する。

**2** 本機リモコンの **MIRACAST** キーを押す。  
前面ディスプレイに「MIRACAST」と表示されます。

**3** 手順 2 から 1 分以内に、Miracast 対応機器の **Miracast** を起動し、接続先として本機を選ぶ。  
本機と Miracast 対応機器の Miracast 接続が確立されます。

**4** Miracast 対応機器で動画や写真を再生する。

**5** Miracast 接続を終了するには、本機リモコンの **MIRACAST** キーを押す。



- HOME キーまたは RETURN キーでも Miracast 接続を終了できます。



- Miracast 使用中に映像 / 音声途切れたりノイズが入ったりする場合は、以下をお試しください。
  - Miracast 対応機器を本機に近づける。
  - 使用していない別の無線機器の電源を切る。
  - 本機と Miracast 対応機器を、電子レンジやほかの無線機器から遠ざける。

## モバイル機器から本機を操作する (AV CONTROLLER)

スマートフォン/タブレット用アプリケーション「AV CONTROLLER」を使用すると、お使いのモバイル機器が本機のリモコンとして動作します。



### AV CONTROLLER

- ヤマハ製ブルーレイディスクプレーヤーの基本機能を操作できます（再生、一時停止、スキップ、電源操作、カーソル操作など）。
- 「AV CONTROLLER」は各国語表示に対応しています。
- 「AV CONTROLLER」について詳しくは、弊社ウェブサイトをご覧ください。



- Wi-Fi Direct や Miracast を使用しているときは、この機能を使用できません。

# 設定する

## 本機の各種機能を設定する（設定メニュー）

テレビ画面を見ながら本機の各種機能を設定します。

### 1 SETUP キーを押す。

テレビ画面に設定メニューが表示されます。



・ホームメニューの「設定」からも、設定メニューを表示できます。

### 2 カーソルキー（◀/▶）でメニューを選び、ENTER キーまたはカーソルキー（▼）を押す。



### 3 カーソルキー（▲/▼）でサブメニューを選び、ENTER キーまたはカーソルキー（▶）を押す。



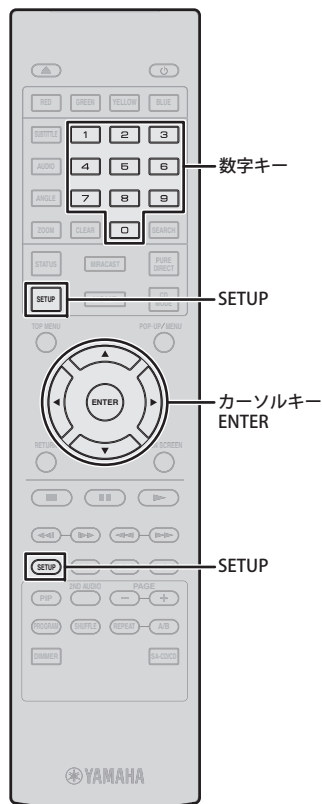
・メニュー操作中、1つ前の選択に戻るにはカーソルキー（◀）を押します。

### 4 カーソルキー（▲/▼）で設定項目を選び、ENTER キーまたはカーソルキー（▶）を押す。




### 5 カーソルキー（▲/▼）で設定値を選び、ENTERキーを押す。 設定項目によっては、数字キーを使って数値（パスワードなど）を入力します。

### 6 終了するには、SETUP キーを押す。





## 設定メニューでできること

メニュー	サブメニュー	項目	説明	ページ
<div>一般設定</div> 	システム	自動スタンバイ	本機を一定時間操作しなかったときに電源を自動的にスタンバイにします。	43
		HDMI コントロール	HDMI コントロールを有効 / 無効にします。	43
		デフォルト設定	本機の設定を初期値に戻します。	43
		ソフトウェア更新	本機のソフトウェアを更新します。	43
		更新メッセージ	更新ソフトウェアが見つかったときにメッセージを表示するかどうかを設定します。	44
		3D メッセージ	3D 映像再生に関するメッセージを表示するかどうかを設定します。	44
		ローカルストレージ	本機に接続されている USB メモリーの空き容量を表示します。 USB メモリー内の「BUDA」フォルダーをフォーマットすることもできます。	44
		簡単セットアップ	簡単セットアップを実行します。	44
		ソフトウェアライセンス	本機で使用しているソフトウェアのライセンス情報を表示します。	44
	言語	画面表示	本機の画面表示に使用する言語を設定します。	44
		ディスクメニュー	ディスクメニューの表示言語を設定します。	44
		音声	ブルーレイディスク / DVD 再生時の音声言語を設定します。	44
		字幕	ブルーレイディスク / DVD 再生時の字幕言語を設定します。	44
	再生	ディスク自動再生	ディスクの自動再生機能を有効 / 無効にします。	45
		Angle マーク	複数アングルに対応しているディスク再生時にアイコンを表示するかどうかを設定します。	45
		PIP マーク	第 2 映像に対応しているディスク再生時にアイコンを表示するかどうかを設定します。	45
		2nd オーディオマーク	第 2 音声に対応しているディスク再生時にアイコンを表示するかどうかを設定します。	45
		ラストメモリー	ディスクの再生を停止した位置を記憶させるかどうかを設定します。	45
	セキュリティ	パスワード変更	「視聴制限」や「国 / 地域」の設定変更時に入力するパスワードを設定します。	45
		視聴制限	視聴制限レベルを設定します。	46
		国 / 地域	視聴制限に使用する国 / 地域コードを設定します。	46
	ネットワーク	接続設定	ネットワークへの接続方法を設定します。	46
		ネットワーク情報	ネットワーク情報 (IP アドレスなど) を表示します。	46
		接続試験	ネットワークに正しく接続されているかどうかを確認します。	46
		IP アドレス設定	ネットワーク情報 (IP アドレスなど) を設定します。	46
		プロキシ設定	プロキシサーバー設定を有効 / 無効にします。	47
		ネットワークコントロール	AV CONTROLLER を使った本機の操作を有効 / 無効にします。	47
		ネットワークスタンバイ	ネットワーク機器から本機の電源を入れる機能を有効 / 無効にします。	47
		DMC コントロール	デジタル・メディア・コントローラー (DMC) 対応のモバイル機器からの操作を有効 / 無効にします。	47
		BD-LIVE 接続	BD-Live コンテンツへのアクセスを制限します。	47

メニュー	サブメニュー	項目	説明	ページ
<div>ディスプレイ設定</div> 	テレビ	3D 出力	ブルーレイ 3D の再生を有効 / 無効にします。	48
		スクリーン	本機から出力する映像信号のアスペクト比（縦横比）を設定します。	48
		4K アップスケーリング	HDMI 映像出力の 4K アップスケーリングを有効 / 無効にします。	48
		HDMI 解像度	本機から出力する HDMI 映像の解像度を設定します。	48
		テレビシステム	お使いのテレビにあわせて、本機のビデオ信号方式を設定します。	49
		カラースペース	本機から出力する HDMI 映像の色空間を設定します。	49
		Deep Color	Deep Color 対応のテレビや AV レシーバーを使用時に、本機から出力する HDM 映像の色数を設定します。	49
		HDMI 1080p 24Hz	HDMI 映像の 1080p/24Hz 出力を有効 / 無効にします	49
	ビデオプロセス	ノイズリダクション	ノイズリダクションのレベルを設定します。	50
		デインターレース	デインターレース処理方法を設定します。	50
	スクリーンセーバー	時間	スクリーンセーバーが起動するまでの時間を設定します。	50
		スライドショー再生順	スクリーンセーバー（スライドショー）のシャッフル再生を有効 / 無効にします。	50
		画面切替効果	スクリーンセーバー（スライドショー）の写真が替わるときの表示方法を設定します。	50
	クローズドキャプション	CC アトリビュート	クローズドキャプション（文字情報表示）の表示方法を設定します。	51
<div>オーディオ設定</div> 	CD モード	HDMI	CD モード中の HDMI 出力制限を設定します。	51
	オーディオ出力	同軸 / 光	デジタル音声（同軸デジタル / 光デジタル）の出力方法を設定します。	52
		HDMI	HDMI 音声の出力方法を設定します。	52
		ダウンサンプリング	デジタル音声出力（同軸デジタル / 光デジタル）のダウンサンプリング周波数を設定します。	52
		DRC	DRC（ダイナミック・レンジ・コンプレッション）を有効 / 無効にします。	52
	SACD/DSD ファイル出力	優先出力	SA-CD 再生時に使用する音声出力端子を設定します。	53
		出力方法	SA-CD または DSD ファイル再生時に HDMI 端子から出力する音声信号の種類（DSD/PCM）を設定します。	53
		SACD エリア	SA-CD 再生時に優先的に再生するコンテンツ（マルチチャンネル / 2 チャンネル）を設定します。	53
	スピーカーセッティング	2ch ダウンミックス	マルチチャンネル音声信号を 2 チャンネル音声にダウンミックスする際の出力方法を設定します。	53
	ポストプロセス	UpMix	2 チャンネル音声信号をマルチチャンネル音声信号に変換して出力するかどうかを設定します。	54
システム情報				
	本機のソフトウェアバージョンと MAC アドレスを表示します。			54

## 一般設定

本機の再生機能、セキュリティ、ネットワークに関する設定を行います。



- 各項目の初期値には下線が付いています。

### ◆ システム

本機のシステムに関する設定を行います。

#### 自動スタンバイ

本機を一定時間操作しなかったときに電源を自動的にスタンバイにします。

##### 設定値

設定値	
<u>オン</u>	入力信号が無い状態で、本機を 20 分間操作しなかったときに電源を自動的にスタンバイにする。(5 分経過すると画面にスクリーンセーバーが表示されます。)
オフ	電源を自動的にスタンバイにしない。

## HDMI コントロール

HDMI コントロールを有効 / 無効にします。有効にすると、HDMI ケーブルで本機と接続したテレビや AV レシーバーとの連動操作が可能になります。

##### 設定値

<u>オン</u>	HDMI コントロールを有効にする。
オフ	HDMI コントロールを無効にする。



- 本機は以下の HDMI コントロール機能に対応しています。(テレビや AV レシーバーによっては、一部の機能が動作しなかったり、別の機能が動作したりする場合があります。)
  - 本機で再生を始めると、テレビや AV レシーバーが本機からの入力に切り替わる。
  - テレビの電源を切ると、本機の電源も切れる (再生中や設定メニュー表示中を除く)。



- HDMI コントロールを使用するには、テレビや AV レシーバーが HDMI コントロールに対応している必要があります。
- HDMI コントロールを使用するには、テレビや AV レシーバー側であらかじめ連動設定が必要な場合があります。詳しくはお使いの機器の取扱説明書をご覧ください。
- HDMI コントロール対応機器すべての動作を保証するものではありません。

## デフォルト設定

本機の設定 (「セキュリティ」設定を除く) を初期値に戻します。

## ソフトウェア更新

USB メモリーまたはネットワーク経由で、本機のソフトウェアを更新します。詳しくは、「本機のソフトウェアを更新する」(22 ページ) をご覧ください。



- 機能の追加や不具合の改善に応じて、本機のソフトウェアが更新されることがあります。本機の性能を最大限活用するため、ソフトウェアは定期的に更新することをおすすめします。

## 更新メッセージ

更新ソフトウェアが見つかったときにメッセージを表示するかどうかを設定します。

### 設定値

オン	メッセージを表示する。
オフ	メッセージを表示しない。



- メッセージを表示するには、本機がインターネットに接続されている必要があります。

## 3D メッセージ

本機の電源を入れたときに 3D 映像再生に関するメッセージを表示するかどうかを設定します。

### 設定値

オン	メッセージを表示する。
オフ	メッセージを表示しない。

## ローカルストレージ

本機に接続されている USB メモリーの空き容量を表示します。

「フォーマット」を選ぶと、USB メモリー内の「BUDA」フォルダー（36 ページ）をフォーマットします。

## 簡単セットアップ

簡単セットアップを実行します。簡単セットアップでは、表示言語、解像度、画面サイズをかんたんに設定できます。

各項目の設定値については、「画面表示」（44 ページ）、「HDMI 解像度」（48 ページ）、「スクリーン」（48 ページ）をご覧ください。

## ソフトウェアライセンス

本機で使用しているソフトウェアのライセンス情報を表示します。

## ◆言語

言語に関する設定を行います。



- ディスクによっては「ディスクメニュー」、「音声」、「字幕」の設定どおりに動作しない場合があります。その場合は、ディスクのメニュー画面から設定してください。

### 画面表示

本機の画面表示（オンスクリーンメニュー、設定メニューなど）に使用する言語を設定します。

#### 設定値

English（英語）、日本語

### ディスクメニュー

ディスクに複数のディスクメニュー表示言語が収録されている場合に、優先的に使用する言語を設定します。

設定したい言語が見つからないときは、「More」を選ぶと選択できる言語がすべて表示されます。

### 音声

ディスク（ブルーレイディスク / DVD）に複数の音声言語が収録されている場合に、優先的に使用する言語を設定します。

設定したい言語が見つからないときは、「More」を選ぶと選択できる言語がすべて表示されます。

### 字幕

ディスク（ブルーレイディスク / DVD）に複数の字幕言語が収録されている場合に、優先的に使用する言語を設定します。

設定したい言語が見つからないときは、「More」を選ぶと選択できる言語がすべて表示されます。

字幕を表示しない場合は「オフ」を選んでください。

## ◆再生

再生機能に関する設定を行います。


### ディスク自動再生

ディスクの自動再生機能を有効 / 無効にします。有効にすると、ディスクトレイにディスクをセットすると自動的に再生が始まります。

#### 設定値

オン	自動再生機能を有効にする。
オフ	自動再生機能を無効にする。


### Angle マーク

複数アングル（31 ページ）に対応しているディスク再生時にアイコン  をテレビ画面に表示するかどうかを設定します。

#### 設定値

オン	アイコンを表示する。
オフ	アイコンを表示しない。


### PIP マーク

第 2 映像（Picture in Picture）（35 ページ）に対応しているブルーレイディスク再生時にアイコン  をテレビ画面に表示するかどうかを設定します。

#### 設定値

オン	アイコンを表示する。
オフ	アイコンを表示しない。

### 2nd オーディオマーク

第 2 音声（Secondary Audio）（35 ページ）に対応しているブルーレイディスク再生時にアイコン  をテレビ画面に表示するかどうかを設定します。

#### 設定値

オン	アイコンを表示する。
オフ	アイコンを表示しない。





## ラストメモリー

ディスク（ブルーレイディスク / DVD）の再生を停止した位置を記憶させるかどうかを設定します。この機能を使うと、同じディスクを再生したときに前回停止した位置から続きを視聴できます。

#### 設定値

オン	再生停止位置を記憶させる。
オフ	再生停止位置を記憶させない。



- ・  キー、 キー、 キーのいずれかで再生を終了した場合に停止位置を記憶します。（ キーで停止した場合は記憶しません。）



- ・ ディスクによっては、この機能が正しく動作しない場合があります。

## ◆セキュリティ





セキュリティに関する設定を行います。

### パスワード変更

「視聴制限」や「国 / 地域」の設定変更時に入力するパスワードを設定します。パスワードを設定するには、現在のパスワード（初期値：0000）を入力してから、新しいパスワードを 2 回入力してください。

#### パスワードを忘れた場合

パスワードを忘れた場合は、以下の手順で本機をリセットしてパスワードを初期値（0000）に戻すことができます。ただし、本機をリセットすると「セキュリティ」設定を含むすべての設定が初期化されます。

- ① 本機の再生を停止して、ディスクトレイからディスクを取り出す。
- ② 本体前面の  キー、 キー、 キーを同時に押し続ける。
- ③ 自動的に電源が切れたら、 キーを押して電源を入れる。

## 視聴制限

ディスクによっては、その内容により視聴制限レベルが設けられている場合があります。本機で視聴制限レベルを設定すると、そのレベルを超えるディスクの再生時にパスワードの入力が必要になります。

たとえば、本機をレベル 3 に設定した場合、レベル 4 以上のディスクはパスワードを入力しないと再生できません（レベル 1 ～ 3 のディスクは通常どおり再生できます）。

### 設定値

1 ～ 8	選択したレベルで視聴を制限する。
オフ	視聴を制限しない。



- この設定を変更するには、パスワードの入力が必要になります。

## 国 / 地域

視聴制限に使用する国 / 地域コードを設定します。



- この設定を変更するには、パスワードの入力が必要になります。

## ◆ ネットワーク

ネットワークに関する設定を行います。

### 接続設定

ネットワークへの接続方法を設定します。

#### 設定値

イーサネット	市販のネットワークケーブルを使って（16 ページ）、本機をネットワークに接続する場合に選択する。
ワイヤレス	無線ルーター（アクセスポイント）を経由して、本機をネットワークに接続する場合に選択する。詳しくは「無線接続を設定する」（21 ページ）をご覧ください。

## ネットワーク情報

ネットワーク情報（IP アドレスなど）を表示します。接続方法（有線 / 無線）により表示される情報が異なります。

### 接続試験

ネットワークに正しく接続されているかどうかを確認します。

正しく接続されている場合は「ネットワークは OK です。」と表示されます。「ネットワークが接続できません。」と表示された場合は、ネットワークケーブル接続（16 ページ）や無線設定（21 ページ）をご確認ください。

## IP アドレス設定

ネットワーク情報（IP アドレスなど）を設定します。

#### 設定値

自動	DHCP サーバーを使用して、本機のネットワーク情報（IP アドレスなど）を自動的に取得する。取得した情報は「ネットワーク情報」で確認できます。
マニュアル	DHCP サーバーを使用せずに、ネットワーク情報（IP アドレスなど）を手動で設定する。詳しくは「ネットワーク情報の手動設定」をご確認ください。

### ネットワーク情報の手動設定

- 「IP アドレス設定」で「マニュアル」を選ぶ。
- カーソルキー（◀/▶）で変更する位置を移動し、数字キーで数値を入力する。  
入力した数値を消す場合は、CLEAR キーを押す。
- 手順 2 を繰り返して各項目の数値を入力する。
- すべての入力が完了したら ENTER キーを押す。

## プロキシ設定

プロキシサーバー設定を有効 / 無効にします。

### 設定値

使用しない	プロキシサーバー設定を無効にする。 通常のご家庭で使用される場合はこの設定を選んでください。
使用する	プロキシサーバー設定を有効にする。 「サーバー名」および「ポート番号」を選んで各設定を行ってください。

## ネットワークコントロール

AV CONTROLLER (39 ページ) を使った本機の操作を有効 / 無効にします。

### 設定値

オン	AV CONTROLLER からの操作を有効にする。
アドレスフィルタリング	AV CONTROLLER からの操作を有効にする。 「MAC1 ～ 5」で指定した MAC アドレスを持つモバイル機器（スマートフォン、タブレットなど）からのみ操作できます。
オフ	AV CONTROLLER からの操作を無効にする。

## ネットワークスタンバイ

ネットワーク機器から本機の電源を入れる機能（ネットワークスタンバイ）を有効 / 無効にします。

### 設定値

オン	ネットワークスタンバイを有効にする。
オフ	ネットワークスタンバイを無効にする。



- ・「ネットワークコントロール」が「オフ」の場合は設定できません。
- ・「ネットワークスタンバイ」を「オン」に設定すると、「オフ」に設定時より電力を消費します。

## DMC コントロール

デジタル・メディア・コントローラー（DMC）対応のモバイル機器からの操作（17 ページ）を有効 / 無効にします。

### 設定値

使用する	モバイル機器からの操作を有効にする。
使用しない	モバイル機器からの操作を無効にする。

## BD-LIVE 接続

BD-Live コンテンツ（36 ページ）へのアクセスを制限します。

### 設定値

許可	BD-Live コンテンツへのアクセスを制限しない。
一部許可	BD-Live コンテンツにアクセスする前に、アクセスを許可するかどうかを選ぶ。
禁止	BD-Live コンテンツへのアクセスを制限する。 この場合、全てのディスクの BD-Live 機能が使用できなくなります。

## ディスプレイ設定

映像や画面に関する設定を行います。



・各項目の初期値には下線が付いています。

### ◆テレビ

テレビに出力する映像に関する設定を行います。

#### 3D 出力

ブルーレイ 3D の再生を有効 / 無効にします。

##### 設定値

<u>自動</u>	ブルーレイ 3D の再生を有効にする。(3D 映像 / 2D 映像が自動的に識別され、テレビに出力されます。)
オフ	ブルーレイ 3D の再生を無効にする。(2D 映像のみテレビに出力されます。)



・「3D 出力」が「自動」の状態でもブルーレイ 3D ディスクを再生しても、テレビの設定やディスクによっては 2D 映像が表示される場合があります。

## スクリーン

本機から出力する映像信号のアスペクト比（縦横比）を設定します。

##### 設定値

16:9 ワイド	画面が 16:9 のテレビを使用時に選択します。4:3 の映像を表示するときは、映像を左右に引き延ばして 16:9 のテレビにあわせませす。
<u>16:9 ノーマル</u>	画面が 16:9 のテレビを使用時に選択します。4:3 の映像を表示するときは、映像の左右に黒い帯をつけて 16:9 のテレビにあわせませす。
4:3 パンスキャン	画面が 4:3 のテレビを使用時に選択します。16:9 の映像を表示するときは、映像の左右をカットして 4:3 のテレビにあわせませす。
4:3 レターボックス	画面が 4:3 のテレビを使用時に選択します。16:9 の映像を表示するときは、映像の上下に黒い帯をつけて 4:3 のテレビにあわせませす。

## 4K アップスケーリング

HDMI 映像出力の 4K アップスケーリングを有効 / 無効にします。

##### 設定値

<u>オン</u>	4K アップスケーリングを有効にする。 「HDMI 解像度」で「4K」が選択可能になります。
オフ	4K アップスケーリングを無効にする。

## HDMI 解像度

本機から出力する HDMI 映像の解像度を設定します。詳しくは「映像出力フォーマット」(55 ページ)をご覧ください。

##### 設定値

<u>自動</u>	本機と接続したテレビが対応しているもっとも高い解像度で出力する。 ブルーレイディスク / DVD を再生時はディスクの解像度のまま出力する。それ以外のときは本機と接続したテレビが対応しているもっとも高い解像度で出力する。 AV レシーバーなどの外部機器で解像度を変換する場合は、この設定を選んでください。
オリジナル	
4K、1080p、1080i、720p、480p/576p、480i/576i	指定した解像度で出力する。





- テレビが対応していない解像度を選んだ場合、映像が表示されません。その場合は、「自動」またはテレビが対応している解像度に変更してください。
- HDMI 端子から HD オーディオ（Dolby TrueHD または DTS-HD Master Audio）を出力する場合は、「自動」または 720p 以上の解像度に設定してください。
- 「4K アップスケーリング」が「オン」の場合のみ、「4K」を選択できます。
- 「HDMI 解像度」を「4K」に設定時に「4K アップスケーリング」を「オフ」にすると、「自動」に設定されます。

## テレビシステム

テレビ映像方式を設定します。詳しくは「映像出力フォーマット」（55 ページ）をご覧ください。

### 設定値

NTSC	NTSC 方式のテレビを使用する場合に選択する。
PAL	PAL 方式のテレビを使用する場合に選択する。
マルチ	NTSC 方式と PAL 方式の両方に対応しているテレビを使用する場合に選択する。

## カラースペース

本機から出力する HDMI 映像の色空間（66 ページ）を設定します。

### 設定値

YCbCr 4:4:4	YCbCr 4:4:4 の色空間で出力する。
YCbCr 4:2:2	YCbCr 4:2:2 の色空間で出力する。
Full RGB	RGB（0 ～ 255）の色空間で出力する。
RGB	RGB（16 ～ 235）の色空間で出力する。



- テレビが対応している色空間を選んだ場合のみ効果があります。

## Deep Color

Deep Color（66 ページ）に対応しているテレビや AV レシーバーを使用時に、本機から出力する HDMI 映像の色数を設定します。

### 設定値

30 bits、36 bits	指定したビット数のカラーで出力する。
オフ	通常の 24 ビットカラーで出力する。

## HDMI 1080p 24Hz

HDMI 映像の 1080p/24Hz 出力を有効 / 無効にします。

### 設定値

自動	HDMI 映像の 1080p/24Hz 出力を有効にする。 1080p/24Hz 対応のブルーレイディスクを再生すると、自動的に 1080p/24Hz 信号が出力されます。
オフ	HDMI 映像の 1080p/24Hz 出力を無効にする。



- 「HDMI 1080p 24Hz」を「自動」に設定すると、毎秒 24 フレームで記録したブルーレイディスク（映画など）を再生する際、より自然な高画質映像を楽しめます（テレビが 1080p/24Hz に対応している必要があります）。
- 1080p/24Hz 出力を有効にするには、「HDMI 解像度」（48 ページ）が「自動」、「オリジナル」、「1080p」のいずれかに設定されている必要があります。詳しくは「映像出力フォーマット」（55 ページ）をご覧ください。

## ◆ビデオプロセス

映像信号処理に関する設定を行います。

### ノイズリダクション

ノイズリダクションのレベルを設定します。レベルが大きいほどノイズ除去の効果が大きくなります。

設定値

0、1、2、3

### デインターレース

デインターレース処理（水平方向の線形ノイズ除去）方法を設定します。

設定値

自動	映像信号にあわせてデインターレース処理を自動的に適用する。 映像表示に問題がない場合はこの設定を選んでください。
フィルム	映画に適したインターレース処理を適用する。 映画を視聴時に水平方向に線形ノイズが発生する場合はこの設定を選んでください。
ビデオ	映画以外の動画に適したインターレース処理を適用する。 動画を視聴時に水平方向に線形ノイズが発生する場合はこの設定を選んでください。

## ◆スクリーンセーバー

本機を一定時間操作しないとテレビ画面にスクリーンセーバーが表示されます。あらかじめ用意されている映像以外に、USB メモリーに保存した写真（スライドショー）をスクリーンセーバーとして使用できます。

ここでは、スクリーンセーバーに関する設定を行います。



- スライドショーをスクリーンセーバーとして使用するには、以下の準備を行ってください。
  - USB メモリーのルートディレクトリに「autopict」という名前のフォルダーを作成する。
  - 「autopict」フォルダー内に3点以上の画像ファイル（JPEG、GIF、PNG形式）を保存する。
  - USB メモリーをUSB端子に接続する。

## 時間

スクリーンセーバーが起動するまでの時間（分）を設定します。

設定値

1、5、10

### スライドショー再生順

スクリーンセーバー（スライドショー）のシャッフル再生を有効/無効にします。

設定値

ノーマル	シャッフル再生を無効にする。
シャッフル	シャッフル再生を有効にする。



- スライドショーをスクリーンセーバーとして使用している場合のみ、設定できます。
- オンスクリーンメニューの「モード」（32ページ）と共通の設定になります。

### 画面切替効果

スクリーンセーバー（スライドショー）の写真が替わるときの表示方法を設定します。

設定値

オフ	特殊効果なしで通常どおり表示します。
Wipe left、Wipe right、Wipe up、Wipe down、Box in、Box out、Blending、Dissolve、Interlace H、Interlace V、Split in H、Split in V、Split out H、Split out V	選択した特殊効果を使って表示します。



- スライドショーをスクリーンセーバーとして使用している場合のみ、設定できます。
- オンスクリーンメニューの「画面切替効果」（33ページ）と共通の設定になります。

◆クローズドキャプション

米国のクローズドキャプション（文字情報表示）に関する設定を行います。

CCアトリビュート

クローズドキャプション（文字情報表示）の表示方法を設定します。

設定値

自動	コンテンツの初期設定にしたがって、クローズドキャプションを自動的に表示する。
カスタム	クローズドキャプションの表示方法を手動で設定する。 目的に応じて、文字（フォント色、フォントサイズ、フォントスタイル、フォント透かし、フォントエッジ、フォントエッジ色）、背景（BG カラー、BG 透かし）、窓枠（Window カラー、Window 透かし）を設定してください。

オーディオ設定

音声に関する設定を行います。



- 各項目の初期値には下線が付いています。

◆CD モード

CD モード（27 ページ）に関する設定を行います。

HDMI

CD モード中の HDMI 出力制限を設定します。

設定値

オフ	CD モード中は HDMI 関連の回路（映像 / 音声）を停止する。
<u>オーディオのみ出力</u>	CD モード中は HDMI 端子からの映像出力を停止（黒色画面を表示）し、音声のみ出力する。

## ◆オーディオ出力

音声出力に関する設定を行います。

### 同軸 / 光

デジタル音声（同軸デジタル / 光デジタル）の出力方法を設定します。詳しくは「音声出力フォーマット」（56 ページ）をご覧ください。

#### 設定値

ビットストリーム	デジタル音声（同軸デジタル / 光デジタル）を変換せずにそのまま出力する。 この場合、ブルーレイディスクの第 2 音声（Secondary Audio）は再生できません。
PCM	2 チャンネル PCM 音声に変換して出力する。
再エンコード	ブルーレイディスクの第 2 音声（Secondary Audio）をミキシングして、Dolby Digital 音声や DTS 音声に変換して出力する。
オフ	デジタル音声（同軸デジタル / 光デジタル）を出力しない。

### HDMI

HDMI 音声の出力方法を設定します。詳しくは「音声出力フォーマット」（56 ページ）をご覧ください。

#### 設定値

ビットストリーム	HDMI 音声を変換せずにそのまま出力する。 この場合、ブルーレイディスクの第 2 音声（Secondary Audio）は再生できません。
PCM	PCM 音声に変換して出力する。
再エンコード	ブルーレイディスクの第 2 音声（Secondary Audio）をミキシングして、Dolby Digital 音声や DTS 音声に変換して出力する。
オフ	HDMI 音声を出力しない。



- HDMI 端子から HD オーディオ（Dolby TrueHD または DTS-HD Master Audio）を出力する場合は、「HDMI 解像度」（48 ページ）を「自動」または 720p 以上の解像度に設定してください。

### ダウンサンプリング

デジタル音声出力（同軸デジタル / 光デジタル）のダウンサンプリング周波数を設定します。同軸デジタル端子および光デジタル端子から出力できる音声は、ここで設定したサンプリング周波数以下に制限されます。

#### 設定値

48K、96K、192K

### DRC

DRC（ダイナミック・レンジ・コンプレッション）を有効 / 無効にします。有効にすると、大きい音を小さく、小さい音を大きくして再生できます。セリフが聞きとりにくい場合や深夜に映画を観る場合などにご利用ください。

#### 設定値

オフ	DRC を無効にする。
オン	DRC を常に有効にする。
自動	ディスクの音声に応じて、DRC を自動的に有効 / 無効にする（Dolby TrueHD のみ対応）。

## ◆SACD/DSD ファイル出力

スーパーオーディオ CD (SA-CD) および DSD ファイルの音声出力に関する設定を行います。



- SA-CD および DSD ファイル再生時に本機から出力される音声フォーマットについては、「スーパーオーディオ CD (SA-CD) /DSD ファイルの音声出力フォーマット」(57 ページ) をご覧ください。

### 優先出力

SA-CD 再生時に使用する音声出力端子を設定します。

#### 設定値

<u>HDMI</u>	HDMI 端子から音声を出力する。
アナログ	アナログ (ANALOG OUT、BALANCED OUT) 端子から音声を出力する。 再生時には DSD ステレオ信号 (7 ページ) が自動的に選択され、そのままアナログに変換した信号が出力されます。

### 出力方法

SA-CD または DSD ファイル再生時に HDMI 端子から出力する音声信号の種類 (DSD/PCM) を設定します。

#### 設定値

<u>DSD</u>	DSD (ダイレクトストリームデジタル) 信号をそのまま出力する。
PCM	本機でデコードした PCM 信号を出力する。



- 「優先出力」が「アナログ」の場合は、常に DSD 信号が出力されます。
- 本機を DSD 対応の AV レシーバーに接続する場合は、「DSD」に設定することをおすすめします。

## SACD エリア

SA-CD 再生時に優先的に再生するコンテンツ (マルチチャンネル /2 チャンネル) を設定します。

#### 設定値

<u>マルチ</u>	マルチチャンネル音声を出力する。
ステレオ	2 チャンネル音声を出力する。



- 再生する SA-CD にマルチチャンネル音声収録されている場合のみ有効です。
- 「優先出力」が「アナログ」の場合は、ステレオのレイヤーが選択され、ステレオ音声で再生されます。

## ◆スピーカーセッティング

スピーカー出力に関する設定を行います。

### 2ch ダウンミックス

マルチチャンネル音声信号を 2 チャンネル音声にダウンミックスする際の出力方法を設定します。

#### 設定値

<u>ステレオ</u>	2 チャンネル (ステレオ) 音声に変換して出力する。 音声はステレオスピーカー (2 つのフロントスピーカー) からのみ出力されます。
Lt/Rt	Dolby Surround 対応の 2 チャンネル音声に変換して出力する。 Dolby Pro Logic 対応の AV レシーバーを使って再生する場合、サラウンド音声出力されます。

◆ポストプロセス

音声信号の後処理に関する設定を行います。

UpMix

2チャンネル音声信号をマルチチャンネル音声信号に変換して出力するかどうかを設定します。

設定値

オフ	2チャンネル音声をそのまま出力する。
DTS NEO:6	DTS NEO:6 デコーダーを使って、2チャンネル音声信号をマルチチャンネル音声信号に変換して出力する。 再生コンテンツに応じて「シネマ」または「音楽」を選んでください。

システム情報

本機のソフトウェアバージョン（22 ページ）と MAC アドレス（67 ページ）を表示します。



## 本機の映像 / 音声出力

### 映像出力フォーマット

「テレビシステム」を「NTSC」に設定時

コンテンツ	HDMI 解像度 (48 ページ)							
	自動	オリジナル	4K (*3)	1080p	1080i	720p	480p/576p	480i/576i
BD-Video (1080p/24Hz 収録)	*1	1080p 24Hz	4K (2160p) 24Hz	1080p 24Hz/60Hz *4	1080i 60Hz	720p 60Hz	480p	480i
BD-Video (1080p/24Hz 未収録)	*1	*2	4K (2160p) 30Hz	1080p 60Hz	1080i 60Hz	720p 60Hz	480p	480i
DVD-Video	*1	*2	4K (2160p) 30Hz	1080p 60Hz	1080i 60Hz	720p 60Hz	480p	480i
その他	*1	*1	4K (2160p) 30Hz	1080p 60Hz	1080i 60Hz	720p 60Hz	480p	480i

「テレビシステム」を「PAL」に設定時

コンテンツ	HDMI 解像度 (48 ページ)							
	自動	オリジナル	4K (*3)	1080p	1080i	720p	480p/576p	480i/576i
BD-Video (1080p/24Hz 収録)	*1	1080p 24Hz	4K (2160p) 24Hz	1080p 24Hz/50Hz *4	1080i 50Hz	720p 50Hz	576p	576i
BD-Video (1080p/24Hz 未収録)	*1	*2	4K (2160p) 25Hz	1080p 50Hz	1080i 50Hz	720p 50Hz	576p	576i
DVD-Video	*1	*2	4K (2160p) 25Hz	1080p 50Hz	1080i 50Hz	720p 50Hz	576p	576i
その他	*1	*1	4K (2160p) 25Hz	1080p 50Hz	1080i 50Hz	720p 50Hz	576p	576i

\*1 本機と接続したテレビが対応しているもっとも高い解像度で出力する。

\*2 ディスクの解像度 / 周波数のまま出力する。

\*3 「4K アップスケーリング」(48 ページ) が「オン」の場合のみ選択できます。

\*4 1080p 24Hz 対応のテレビを接続し「HDMI 1080p 24Hz」(49 ページ) を「自動」に設定時は 1080p 24Hz で出力、それ以外は 1080p 50/60Hz で出力する。

「テレビシステム」を「マルチ」に設定時

「テレビシステム」が「マルチ」に設定されている場合、ディスクの映像方式 (NTSC/PAL) のまま HDMI 映像信号が出力されます。各映像方式の解像度 / 周波数については、上記テーブルをご覧ください。



・設定した出力解像度で映像を表示するには、テレビが各解像度に対応している必要があります。

・「テレビシステム」(49 ページ) を「NTSC」に設定時は、コンテンツの周波数に関係なく常に 60Hz で出力されます。また「PAL」に設定時は常に 50Hz で出力されます。

## 音声出力フォーマット

ソースフォーマット	HDMI 端子			DIGITAL OUT (COAXIAL/OPTICAL) 端子			アナログ (ANALOG OUT/ BALANCED OUT) 端子
	ビットストリーム *1	PCM *1	再エンコード *1	ビットストリーム *1	PCM *1	再エンコード *1	
PCM 2ch	PCM 2ch	PCM 2ch	PCM 2ch *2	PCM 2ch	PCM 2ch	PCM 2ch *2	2ch
PCM 5.1ch	PCM 5.1ch	PCM 5.1ch	PCM 5.1ch *2	PCM 2ch	PCM 2ch	PCM 2ch *2	2ch
PCM 7.1ch	PCM 7.1ch	PCM 7.1ch	PCM 7.1ch *2	PCM 2ch	PCM 2ch	PCM 2ch *2	2ch
Dolby Digital	Dolby Digital	PCM 最大 5.1ch	Dolby Digital	Dolby Digital	PCM 2ch	Dolby Digital	2ch
Dolby Digital Plus	Dolby Digital Plus	PCM 最大 7.1ch	Dolby Digital Plus *2	Dolby Digital	PCM 2ch	Dolby Digital	2ch
Dolby TrueHD	Dolby TrueHD	PCM 最大 7.1ch	Dolby TrueHD *2	Dolby Digital	PCM 2ch	Dolby Digital	2ch
DTS	DTS	PCM 最大 5.1ch *3	DTS *4	DTS	PCM 2ch *3	DTS *4	2ch *3
DTS-HD High Resolution Audio	DTS-HD High Resolution Audio	PCM 最大 7.1ch *3	DTS-HD High Resolution Audio *5	DTS	PCM 2ch *3	DTS *4	2ch *3
DTS-HD Master Audio	DTS-HD Master Audio	PCM 最大 7.1ch *3	DTS-HD Master Audio *5	DTS	PCM 2ch *3	DTS *4	2ch *3

\*1 「オーディオ出力」(52 ページ) の設定値による。

\*2 第 2 音声 (Secondary Audio) や特殊音声 (ボタンクリック音、効果音など) を含む場合は、Dolby Digital で出力する。

\*3 USB または DLNA のコンテンツを再生時は、音声を出力しない。

\*4 USB または DLNA のコンテンツを再生時は、再エンコードしない (ビットストリームと同じフォーマットで出力)。

\*5 第 2 音声 (Secondary Audio) や特殊音声 (ボタンクリック音、効果音など) を含む場合は、DTS で出力する。ただし、USB または DLNA のコンテンツを再生時は、再エンコードしない (Bitstream と同じフォーマットで出力)。



## ◆スーパーオーディオ CD（SA-CD）/DSD ファイルの音声出力フォーマット

SACD/DSD ファイル出力（53 ページ）			HDMI 端子	DIGITAL OUT (COAXIAL/OPTICAL) 端子	アナログ (ANALOG OUT/BALANCED OUT) 端子
優先出力	出力方法	SACD エリア			
HDMI	DSD	マルチチャンネル	DSD 最大 5.1ch	出力なし	2ch（DSD 信号を変換）
		ステレオ	DSD 2ch	出力なし	2ch（DSD 信号を変換）
	PCM	マルチチャンネル	PCM 最大 5.1ch	出力なし	2ch（PCM 信号を変換）
		ステレオ	PCM 2ch	出力なし	2ch（PCM 信号を変換）
アナログ*1	DSD	ステレオ	出力なし	出力なし	2ch（DSD 信号を変換）

\*1 「優先出力」が「アナログ」の場合は、常に DSD 信号（ステレオ音声）が出力されます。

# 付録

## 故障かな？と思ったら



ご使用中に本機が正常に動作しなくなった場合は、下記をご確認ください。

対処しても正常に動作しない、または下記以外で異常が認められた場合は、本機の電源を切り、電源プラグを抜いて、お買い上げ店または巻末の「お問い合わせ窓口」にお問い合わせください。

### 最初にご確認ください ...

- ① 本機、テレビ、ほかの外部機器（AV レシーバーなど）の電源プラグがコンセントにしっかりと接続されている。
- ② 本機、テレビ、ほかの外部機器（AV レシーバーなど）の電源が入っている。
- ③ 各機器間のケーブルが端子にしっかりと接続されている。

## 電源 / システム / リモコン

症状	原因	対策
電源が切れない	内部システムがフリーズしている。	本体前面の  （電源）キーを 5 秒以上押して本機を再起動してください。（それでも解決しない場合は、電源コードのプラグをコンセントから抜き、30 秒以上経ってから接続し直してください。）
電源が自動的にスタンバイに切り替わる	操作がない状態で一定時間が経過したため、自動スタンバイ機能が作動した。	自動スタンバイ機能を無効にするには、設定メニューの「自動スタンバイ」を「オフ」に設定してください（43 ページ）。
本機が操作を受け付けない	内部システムがフリーズしている。	本体前面の  （電源）キーを 5 秒以上押して本機を再起動してください。（それでも解決しない場合は、電源コードのプラグをコンセントから抜き、30 秒以上経ってから接続し直してください。）
リモコンで本機を操作できない	操作範囲から外れている。	操作範囲内で操作してください（4 ページ）。
	乾電池が消耗している。	新しい乾電池に交換してください。
	本体のリモコン信号受光部に日光や強い照明が当たっている。	照明または本体の向きを変えてください。
	本体とリモコンの ID が一致していない。	本体側またはリモコン側のリモコン ID を変更してください（11 ページ）。
ディスプレイが開閉しない	Miracast を使用中でディスプレイがロックされている。	Miracast を終了するには MIRACAST キーを押してください。

症状	原因	対策
ディスクを再生できない	ディスクがディスクトレイに正しくセットされていない。	ディスクをセットし直してください。
	ディスクが汚れている。	ディスクの汚れを拭き取ってください（64 ページ）。
	本機が対応していないディスク / ファイルを再生しようとしている。	本機で再生できるディスク / ファイルを確認してください（6 ページ）。
	本機が対応していないリージョンコードのディスクを再生しようとしている。	ディスクのリージョンコードを確認してください（7 ページ）。
	ファイナライズされていない自作ディスク（DVD-R/RW など）を再生しようとしている。	ディスクをファイナライズしてください（6 ページ）。
	CD モード中に音楽 CD（CDDA）、スーパーオーディオ CD 以外のディスク（ブルーレイディスクなど）を再生しようとしている。	CD モードを無効にしてください（27 ページ）。
	ディスクまたはディスク内のデータが破損している。	該当ディスクを別のプレーヤーで再生する、または別のディスクが問題なく本機で再生できるかご確認ください。
ブルーレイディスクの再生に時間がかかる	USB 端子（前面または背面）に USB メモリーが接続されていない。	ブルーレイディスクを読み込む際、本機は BD-Live コンテンツ（36 ページ）を保存するための USB メモリー（ローカルストレージ）を確認します。再生までの時間を短縮するには、USB メモリーを USB 端子（前面または背面）に常時接続しておくことをおすすめします（18 ページ）。

## 映像

症状	原因	対策
映像が出ない	テレビや AV レシーバーで別の入力を選択されている。	テレビや AV レシーバーの入力を本機からの映像に切り替えてください。
	ピュアダイレクト（モード 1）が選択されている。	ピュアダイレクト（モード 2）を選ぶか、ピュアダイレクトを無効にしてください（27 ページ）。
	テレビが対応していない解像度で出力している。	本機の再生を停止してディスクを取り出し、本体前面の $\triangleright$ キーと $\square$ キーを同時に 5 秒以上押して解像度の設定を初期値に戻してください。また必要に応じて、設定メニューの「HDMI 解像度」でテレビが対応している解像度に設定し直してください（48 ページ）。
	テレビが対応していない映像方式（NTSC/PAL）で出力している。	本機の再生を停止してディスクを取り出し、本体前面の $\square$ キーを 5 秒以上押して映像方式（NTSC/PAL）を切り替えてください。
	本機が対応していないディスク / ファイルを再生しようとしている。	本機で再生できるディスク / ファイルを確認してください（6 ページ）。
映像が止まる	ディスクの読み込みに問題が生じた。	いったん再生を停止するか本機の電源を入れ直してから、もう一度再生してください。
	内部システムがフリーズしている。	本体前面の $\odot$ （電源）キーを 5 秒以上押して本機を再起動してください。（それでも解決しない場合は、電源コードのプラグをコンセントから抜き、30 秒以上経ってから接続し直してください。）。

症状	原因	対策
映像が伸びたり切れたりする	アスペクト比（縦横比）が正しく設定されていない。	設定メニューの「スクリーン」でお使いのテレビにあったアスペクト比を選んでください（48 ページ）。
四角いノイズ（モザイク）が出る	デジタル画像圧縮技術の特性上、動きの速い場面などでブロック状のノイズが生じることがあります。	故障ではありません。

## 音声

症状	原因	対策
音が出ない	音量が極端に小さい。	テレビや AV レシーバーの音量を上げてください。
	本機が対応していないディスク / ファイルを再生しようとしている。	本機で再生できるディスク / ファイルを確認してください（6 ページ）。
音が途切れる	ディスクが汚れている。	ディスクの汚れを拭き取ってください（64 ページ）。
	本機が対応していないディスク / ファイルを再生しようとしている。	本機で再生できるディスク / ファイルを確認してください（6 ページ）。
	ディスクまたはディスク内のデータが破損している。	該当ディスクを別のプレーヤーで再生する、または別のディスクが本機で問題なく再生できるかご確認ください。
意図した音声フォーマットで出力されない	音声出力が正しく設定されていない。	設定メニューの「オーディオ出力」で目的にあった音声出力設定を選んでください（52 ページ）。なお、本機から出力できる音声フォーマットについては、「音声出力フォーマット」（56 ページ）をご覧ください。
ブルーレイディスクの第 2 音声 (Secondary Audio) を再生できない	第 2 音声が無効になっている。	2ND AUDIO キーを押して第 2 音声を有効にしてください（35 ページ）。
	第 2 音声を再生できない音声出力設定が選ばれている。	設定メニューの「オーディオ出力 (HDMI)」（52 ページ）または「オーディオ出力 (同軸 / 光)」（52 ページ）を「PCM」または「再エンコード」に設定してください。
	ディスクによっては、ディスクのメニュー画面でしか操作できない場合があります。	ディスクのメニュー画面で第 2 音声の再生操作を行ってください。
スーパーオーディオ CD (SA-CD) の音が出ない	設定メニューの「優先出力」が「アナログ」に設定されている状態で、HDMI 端子に接続した機器で再生しようとしている。	設定メニューの「優先出力」を「HDMI」に設定してください（53 ページ）。
	COXIAL 端子または OPTICAL 端子に接続した機器で再生しようとしている。	スーパーオーディオ CD (SA-CD) の音声は、COAXIAL 端子および OPTICAL 端子から出力することはできません。HDMI 端子または AUDIO OUT 端子をご利用ください。詳しくは「スーパーオーディオ CD (SA-CD) /DSD ファイルの音声出力フォーマット」（57 ページ）をご覧ください。

# ネットワーク

症状	原因	対策
ネットワーク機能（有線 / 無線）を使用できない	ネットワークへの接続方法が正しく設定されていない。	設定メニューの「接続設定」で目的にあった接続方法を選んでください（46 ページ）。
	ネットワーク情報（IP アドレス）が正しく取得されていない。	ルーターの DHCP サーバー機能を有効にしてください。また、本機の設定メニューで「IP アドレス設定」を「自動」に設定してください（46 ページ）。 DHCP サーバーを使用せずに、ネットワーク情報を手動で設定する場合は、本機の IP アドレスが他のネットワーク機器と重複しないようにしてください（46 ページ）。
無線ネットワークが見つからない	無線ルーター（アクセスポイント）の電源が切れている。	無線ルーター（アクセスポイント）の電源を入れてください。
	本機と無線ルーター（アクセスポイント）の距離が離れすぎている。	本機と無線ルーター（アクセスポイント）を近づけてください。
	本機と無線ルーター（アクセスポイント）の間に障害物がある。	本機または無線ルーター（アクセスポイント）を移動し、機器間に障害物がなくなるように設置してください。
	2.4GHz 周波数帯を使用する機器（電子レンジ、コードレス電話など）からの干渉により、無線通信が妨害されている。	それらの機器の電源を切るか、本機や無線ルーターから遠ざけてください。 それでも改善されない場合は、有線接続をご利用ください（46 ページ）。その場合は、設定メニューの「接続設定」を「イーサネット」に設定してください（16 ページ）。
	無線ルーター（アクセスポイント）の設定が適切でない。	無線ルーター（アクセスポイント）の取扱説明書を参照のうえ、各種設定を確認してください。
無線ルーター（アクセスポイント）経由でインターネットに接続できない	無線ルーター（アクセスポイント）の電源が切れている。	無線ルーター（アクセスポイント）の電源を入れてください。
	無線ルーター（アクセスポイント）の設定が適切でない。	無線ルーター（アクセスポイント）の取扱説明書を参照のうえ、各種設定（ファイアウォール設定など）を確認してください。
無線接続の通信速度が遅い	2.4GHz 周波数帯を使用する機器（電子レンジ、コードレス電話など）からの干渉により、無線通信が妨害されている。	それらの機器の電源を切るか、本機や無線ルーターから遠ざけてください。 それでも改善されない場合は、有線接続をご利用ください（46 ページ）。その場合は、設定メニューの「接続設定」を「イーサネット」に設定してください（16 ページ）。
DLNA サーバー（パソコンなど）が検出されない	メディアの共有設定が正しくない。	本機が DLNA サーバーのフォルダーにアクセスできるように、メディアの共有設定を行ってください（17 ページ）。
	セキュリティソフトなどの設定により、パソコンへのアクセスが制限されている。	セキュリティソフトの設定を確認してください。
	本機とパソコンが同じネットワークに接続されていない。	ネットワーク接続やルーター（アクセスポイント）の設定を確認し、同じネットワークに接続してください。
DLNA サーバーのコンテンツを再生できない	本機が対応していないファイルを再生しようとしている。	本機が再生できるファイルが確認してください（6 ページ）。
	DLNA サーバーが対応していないファイルを再生しようとしている。	DLNA サーバーの取扱説明書を参照のうえ、DLNA サーバーが対応しているファイルが確認してください。

症状	原因	対策
BD-Liveコンテンツをダウンロードできない	USB 端子（前面または背面）に USB メモリーが接続されていない。	BD-Live コンテンツを保存するための USB メモリー（ローカルストレージ）を USB 端子に接続してください（18 ページ）。
	USB メモリー（ローカルストレージ）の空き容量が不足している。	USB メモリー（ローカルストレージ）をフォーマットするか（44 ページ）、別の USB メモリー（空き容量が 2.0GB 以上）を使用してください。
	コンテンツプロバイダーの都合により、コンテンツのダウンロードができない状態になっている。	しばらく経ってから再度お試しください。
モバイル機器用アプリケーション（AV CONTROLLER）で本機が検出されない	本機とモバイル機器が同じネットワークに接続されていない。	ネットワーク接続やルーター（アクセスポイント）の設定を確認し、同じネットワークに接続してください。
	本機にアクセスできるネットワーク機器が制限されている。	設定メニューの「ネットワークコントロール」を「オフ」または「アドレスフィルタリング」に設定してください（47 ページ）。「アドレスフィルタリング」に設定した場合は、使用するモバイル機器の MAC アドレスを指定してください。
ネットワーク経由でソフトウェアを更新できない	ネットワークの接続状態がよくない。	しばらく経ってから再度実行するか、USB メモリーを使ってソフトウェアを更新してください（22 ページ）。

## テレビ画面のエラー表示

メッセージ	内容	対策
BD-Live 接続はセットアップメニューで禁止されています。	BD-Live コンテンツへのアクセスが制限されています。	BD-Live コンテンツにアクセスするには、設定メニューの「BD-LIVE 接続」を「許可」または「一部許可」に設定してください（47 ページ）。
IP 設定が無効です。再度設定ください ...	入力されたネットワーク情報（IP アドレスなど）が正しくない。	設定メニューの「IP アドレス設定」でネットワーク情報（IP アドレスなど）を設定し直してください（46 ページ）。
ネットワークが接続できません。	本機がネットワークに接続されていない。	ネットワークケーブル接続（16 ページ）または無線接続の設定（21 ページ）を確認してください。
ネットワーク OK、プロキシ NG ネットワークが接続できません。	本機がプロキシサーバーに接続されていない。	設定メニューの「プロキシ設定」の設定を確認してください（47 ページ）。
リージョンコードが違います。	本機が対応していないリージョンコードのディスクを再生しようとしている。	ディスクのリージョンコードを確認してください（7 ページ）。
非対応ファイル	本機が対応していないファイルを再生しようとしている。	本機が再生できるファイルか確認してください（6 ページ）。
ソフトウェアの更新に失敗しました。	何らかの理由でソフトウェアの更新に失敗した。	ネットワーク経由で更新している場合は、ネットワークケーブル接続（16 ページ）または無線接続の設定（21 ページ）を確認してください。 USB メモリーで更新している場合は、ダウンロードしたソフトウェアが USB メモリーの適切なフォルダーに保存されているか、また USB メモリーがしっかりと USB 端子に接続されているかを確認してください。

## ディスクと動画再生に関するご注意

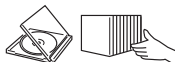
### ディスクに関するご注意

#### 傷やほこりに注意

- ブルーレイディスク、DVD、CD の記録面に傷、ほこり、指紋がつくと再生できなくなることがあります。ディスクの取り扱いや保管には十分ご注意ください。

#### ディスクの保管

ケースに保管するときは、ラベル面を上にしてケース中央にしまってください。



直射日光の当たる場所や高温多湿な場所に保管しないでください。



不安定な場所や衝撃や振動を受けやすい場所に保管しないでください。



ほこりや水気の多い場所に保管しないでください。



#### ディスクの取り扱い



- 記録面に指紋やほこりがついたときは、水で湿らせた柔らかい布を使って内側（中心）から外側（直角方向）に軽く拭いてください。
- ディスクを拭く際に、レコードスプレー、ベンジン、シンナー、帯電防止剤、その他の化学薬品を絶対に使わないでください。
- ディスクの表面に触れないでください。
- ディスクに紙やシールを貼ったりしないでください。
- ディスクの表面に汚れや傷がついていると、再生されずに自動的にディスクトレイが開くことがあります。汚れがついている場合は、柔らかい布を使って拭き取ってください。

#### 本機の読み取りレンズのクリーニングについて

- 市販のクリーニングディスクは絶対に使用しないでください。
- 読み取りレンズのクリーニングが必要な場合は、お買い上げ店または巻末の「お問い合わせ窓口」にお問い合わせください。

### 3D 映像の視聴に関するご注意

- 3D 映像の視聴中に目の疲労、体の疲れ、気分が悪くなるなどの不快な症状が出ることがあります。3D 映像を視聴するときは、定期的に休憩をとることをおすすめします。
- 不快な症状が出たときは、回復するまで 3D 映像の視聴をやめてください。また、必要に応じて医師にご相談ください。
- 3D 映像の視聴に関しては、テレビやブルーレイディスクの取扱説明書もあわせてご覧ください。またテレビ画面に表示される 3D 映像に関するメッセージもよくお読みください。
- お子様（特に 6 歳未満）の視覚は発達段階にあります。お子様により 3D 映像の視聴については、小児科や眼科などの医師にご相談されることをおすすめします。
- 大人のかたは、お子様が上記の注意点を守るようご配慮ください。



## Cinavia テクノロジーについて

Cinavia は、ブルーレイディスクプレーヤーなどに搭載されている、動画コンテンツのコピーを防止する技術です。

Cinavia により保護されているコンテンツを不正にコピーして本機で再生した場合、以下のメッセージ（英文）が表示され、再生が停止したり音声出力が無効になったりします。

Playback stopped. The content being played is protected by Cinavia® and is not authorized for playback on this device.

For more information, see <http://www.cinavia.com>. Message Code 1.

### （参考訳）

再生が停止しました。再生されているコンテンツは Cinavia® により保護されており、この装置上での再生が許可されていません。

詳細は <http://www.cinavia.com> をご覧ください。メッセージコード 1

Audio outputs temporarily muted. Do not adjust the playback volume. The content being played is protected by Cinavia® and is not authorized for playback on this device.

For more information, see <http://www.cinavia.com>. Message Code 3.

### （参考訳）

音声出力は一時的にミュート状態になっています。再生音量を調整しないでください。再生されているコンテンツは Cinavia® によって保護されており、この装置上での再生が許可されていません。

詳細は <http://www.cinavia.com> をご覧ください。メッセージコード 3

### Cinavia の通告

この製品は Cinavia 技術を利用して、商用制作された映画や動画およびそのサウンドトラックのうちいくつかの無許可コピーの利用を制限しています。無許可コピーの無断利用が検知されると、メッセージが表示され再生あるいはコピーが中断されます。

Cinavia 技術に関する詳細情報は、「<http://www.cinavia.com>」の Cinavia オンラインお客様情報センターで提供されています。Cinavia についての追加情報を郵送でお求めの場合、Cinavia Consumer Information Center, P.O. Box 86851, San Diego, CA, 92138, USA まではがきを郵送してください。

### 映像 / ディスクに関する用語

#### 色空間

立方的に記述される色の空間のことで、カラースペースとも呼ばれます。光の3原色（赤、緑、黄色）で表すRGB色空間や、輝度信号（Y）と2種類の色差信号（CbCr）で表すYCbCr色空間などがあります。

#### クローズドキャプション

映画やドラマなどの台詞や効果音などを文字情報に変換し、字幕のようにテレビ画面に表示する技術です。主に、聴覚障害者の方がテレビ放送やビデオソフトを楽しむために適用されています。

#### ブルーレイ 3D

ブルーレイディスクで3D映像を再生するための規格です。左右両目の視差を考慮した映像をフルHDで表示することで、立体的な映像を創りだします。

#### AVCHD (Advanced Video Coded High Definition)

ブルーレイディスクのBDMVフォーマットを応用した、ハイビジョン映像をビデオカメラで記録するための規格です。

#### BD-DAV (Blu-ray Disc Audio/Visual)

BD-R、BD-REなどの書き込み式ブルーレイディスクで採用されているアプリケーションフォーマットの1つです。BDレコーダーで編集できることを特徴とした規格です。

#### BD-Live

ブルーレイディスクの拡張規格の1つで、インターネット経由で特殊映像などの追加コンテンツを取得したり再生したりできます。BD-Liveを楽しむには、取得したコンテンツを保存するための記憶装置（Local Storage）が必要になります。

#### BDMV (Blu-ray Disc Movie)

光ディスクメディアで採用されているアプリケーションフォーマットの1つで、ブルーレイディスクの読み出し用規格です。通称でBD-Videoと呼ばれることもあります。

#### BONUSVIEW

ブルーレイディスクに記録された本編（主映像）を再生しながら、特典映像やサービスコンテンツなどの第2映像（Picture in Picture）や第2音声（Secondary Audio）を同時に再生する機能です。

#### Deep Color

HDMIがサポートしている映像技術です。RGBまたはYCbCr信号の階調を高めることで、より豊かな色調表現が可能です。表現できる色の数が従来の数百万色から数億色に増えたことにより、グラデーションの表現力や暗部のディテール再現力が向上します。

#### HDMI

世界業界標準規格であるHDMI（High-Definition Multimedia Interface Specification）規格に準じた、デジタルインターフェースです。デジタルビデオ/オーディオ信号をデジタルのまま劣化させることなく、1本のケーブルで伝送できます。また、著作権保護技術（HDCP：High-bandwidth Digital Content Protection System）に対応しています。より詳しい情報は「<http://www.hdmi.org>」をご覧ください。

#### x.v.Color

HDMIがサポートしている映像技術です。色空間規格の1つで、sRGB規格より広い色空間を持っているため、今までできなかった色の表現が可能です。sRGB規格との互換性を確保しながら色空間を拡張し、より鮮明で自然な映像になっています。

### 音声に関する用語

#### サンプリング周波数

1秒間にサンプリング（信号の大きさを数値に置き換えること）する回数を示します。この数値が大きいほど再生可能な音域が広がります。

#### AAC (Advanced Audio Coding)

MPEG-2/MPEG-4オーディオ規格の一つで、モノラル音声から5.1チャンネル音声までを効率良く圧縮できる音声フォーマットです。

#### ALAC (Apple Lossless Audio Codec)

アップル社により開発された音声圧縮方式の一つで、ロスレス（可逆型）圧縮方式を採用しています。圧縮率では非可逆圧縮方式フォーマットには劣るものの、音質の劣化がないため、高品質の音声を楽しめます。

#### Dolby Digital

ドルビーラボラトリーズにより開発された、5.1チャンネル対応の圧縮音声フォーマットです。多くのDVDなどで採用されています。

#### Dolby Digital Plus

ドルビーラボラトリーズにより開発された、7.1チャンネル対応の圧縮音声フォーマットです。従来のDolby Digitalと互換性があるため、Dolby Digital対応の機器でも再生できます。ブルーレイディスクなどで採用されています。

#### Dolby TrueHD

スタジオマスター品質の音声を家庭で再現するために、ドルビーラボラトリーズによって開発されたロスレス（可逆型）高品質音声フォーマットです。96kHz/24bit時で最大8チャンネル（192kHz/24bit時は最大6チャンネル）のディスクリート音声信号を収録・再生できます。

**DSD (Direct Stream Digital)**

スーパーオーディオ CD (SA-CD) など採用されている、デジタル信号を記録する方式の一つです。2.8224Mbps のビットレートで記録され、CD よりも高音質な再生ができます。

**DTS デジタルサラウンド**

DTS 社により開発された、5.1 チャンネル対応の圧縮音声フォーマットです。多くの DVD など採用されています。

**DTS-HD High Resolution Audio**

DTS 社により開発された高品質 96kHz/24bit 7.1 チャンネルに対応した圧縮音声フォーマットです。従来の DTS デジタルサラウンドと互換性があります。ブルーレイディスクなどで採用されています。

**DTS-HD Master Audio**

スタジオマスター品質の音声を家庭で再現するために、DTS 社により開発されたロスレス（可逆型）高品質音声フォーマットです。96kHz/24bit 時で最大 8 チャンネル（192kHz/24bit 時は最大 6 チャンネル）のディスクリット音声信号を収録・再生できます。ブルーレイディスクで採用されています。

**DTS Neo:6**

2 チャンネルで記録された信号のソースを、6 チャンネル音声に変換する技術です。映画用の Cinema モード、音楽用の Music モードが用意されています。ディスクリット方式で記録されたソースのようなチャンネル分離感を実現します。

**FLAC (Free Lossless Audio Codec)**

音声圧縮方式の一つで、ロスレス（可逆型）圧縮方式を採用しています。圧縮率では非可逆圧縮方式フォーマットには劣るものの、音質の劣化がないため、高品質の音声を楽しめます。

**PCM (Pulse Code Modulation)**

アナログ音声信号をデジタル音声信号に記録・変換・伝送する方式で、すべてのデジタル音声信号方式の基礎となる技術です。また非圧縮音声フォーマットとして、CD をはじめとしてブルーレイディスクなどさまざまなコンテンツで採用されており、リニア PCM とも呼ばれています。

## ネットワークに関する用語

**MAC アドレス**

ネットワークに接続する各機器に割り当てられている識別番号で、ネットワーク機器間で通信先を特定するのに使用されます。

**SSID (Service Set Identifier)**

無線ネットワークのアクセスポイントを特定するための名前です。

**Wi-Fi**

無線電波による電子機器間でのデータ通信やインターネット接続を可能にする技術です。ケーブル接続の煩雑さが無いのが利点です。Wi-Fi Alliance の互換性テストをクリアした製品のみに「Wi-Fi Certified」ロゴが付与されます。

**WPS (Wi-Fi Protected Setup)**

無線ネットワークを簡単に設定するための、Wi-Fi Alliance によって策定された規格です。

## 商標



ブルーレイディスク、ブルーレイ、ブルーレイ 3D、BD-Live、BONUSVIEW 及びその関連のロゴは Blu-ray Disc Association の商標です。



DVD は DVD Format/Licensing Corporation の商標です。

## DOLBY AUDIO

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー、Dolby Audio およびダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。



DTS の特許に関しては <http://patents.dts.com> をご覧ください。本製品は DTS Licensing Limited のライセンスに基づき製造しています。DTS、DTS-HD、それらのシンボルマークおよび DTS とそのシンボルマークの組み合わせは、DTS 社の登録商標です。DTS-HD Master Audio は DTS, Inc. の商標です。© DTS, Inc. All Rights Reserved.



HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、米国およびその他の国々における HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。

### x.v.Color™

「x.v.Color」は、ソニー株式会社の商標です。



AVCHD および AVCHD ロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。



AVCREC および AVCREC ロゴは Blu-ray Disc Association の商標です。



Java は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。



DLNA™ および DLNA CERTIFIED™ はデジタルリビングネットワークアライアンスの登録商標です。無断使用は固く禁じられています。



Wi-Fi CERTIFIED ロゴは Wi-Fi Alliance の認証マークです。

Wi-Fi Protected Setup マークは Wi-Fi Alliance の認証マークです。

Wi-Fi、Wi-Fi Protected Setup、Wi-Fi Direct および Miracast は Wi-Fi Alliance の商標です。

Windows Media Player は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Copyright 2004-2012 Verance Corporation. Cinavia® は Verance Corporation の商標です。米国特許第 7,369,677 号および Verance Corporation よりライセンスを受けて交付されたまたは申請中の全世界の特許権により保護されています。すべての権利は Verance Corporation が保有します。

This product is licensed under the AVC patent portfolio license and VC-1 patent portfolio license for the personal and non-commercial use of a consumer to (i) encode video in compliance with the AVC Standard and VC-1 Standard ("AVC/VC-1 Video") and/or (ii) decode AVC/VC-1 Video that was encoded by a consumer engaged in a personal and non-commercial activity and/or was obtained from a

video provider licensed to provide AVC/VC-1 Video. No license is granted or shall be implied for any other use. Additional information may be obtained from MPEG LA, LLC. See <http://www.mpegla.com>. This product is licensed under the MVC patent portfolio license for the personal use of a consumer or other uses in which it does not receive remuneration to (i) encode video in compliance with the MVC Standard ("MVC Video") and/or (ii) decode MVC Video that was encoded by a consumer engaged in a personal activity and/or was obtained from a video provider licensed to provide MVC Video. No license is granted or shall be implied for any other use. Additional information may be obtained from MPEG LA, LLC. See <http://www.mpegla.com>

映像や音声には著作権で保護されているものがあります。その全体または一部を著作権者の承諾なしに複製・録音することはできません。

# 主な仕様

## 総合

- 電源電圧..... AC 100V 50/60Hz
- 消費電力..... 20W
- 待機時消費電力
  - HDMI コントロールオフ / ネットワークスタンバイオフ ..... 0.4W
  - HDMI コントロールオン / ネットワークスタンバイオフ ..... 0.5W
  - HDMI コントロールオフ / ネットワークスタンバイオン
    - 有線ネットワーク接続..... 2.0W
    - 無線ネットワーク接続..... 2.3W
  - HDMI コントロールオン / ネットワークスタンバイオン
    - 有線ネットワーク接続..... 2.0W
    - 無線ネットワーク接続..... 2.3W
- 寸法 (幅 × 高さ × 奥行き) ..... 435×86×262mm  
(脚部、突起物を含む)
- 質量 ..... 3.8kg

## オーディオ部

- 出力電圧 (1kHz、0dB)
  - ブルーレイディスク / DVD/CD-DA ..... 2±0.3V
- S/N 比 (IHF-A Network)
  - ブルーレイディスク / DVD/CD-DA ..... 115dB 以上
- ダイナミックレンジ (IHF-A Network)
  - ブルーレイディスク / DVD..... 110dB 以上
  - CD-DA..... 100dB
- 全高調波歪率 (1kHz)
  - ブルーレイディスク / DVD/CD-DA ..... 0.002% 以下
- 周波数特性
  - ブルーレイディスク / DVD (48kHz サンプリング) ..... 4Hz ~ 22kHz
  - ブルーレイディスク / DVD (96kHz サンプリング) ..... 4Hz ~ 44kHz
  - CD-DA..... 4Hz ~ 20kHz

## 入力 / 出力

- HDMI 出力 ..... Type A コネクター ×1  
480i/576i/480p/576p/720p/1080i/1080p/  
1080p@24Hz/4K (2160p) @24Hz,  
Deep Color、x.v. Color 対応
- デジタル音声出力 ..... 光 ×1、同軸 ×1
- アナログ音声出力
  - ..... アンバランス (RCA) 左 / 右 ×1、バランス (XLR) 左 / 右 ×1
- USB..... Type A コネクター ×2
- 無線 LAN ..... 規格 IEEE 802.11 b/g/n  
周波数帯域：2.4GHz 帯 (対応チャンネル：1ch ~ 13ch)
- その他..... REMOTE IN/OUT×1  
NETWORK 端子 ×1

※ この取扱説明書では、印刷時点の最新仕様で説明をしております。  
最新版の取扱説明書につきましては、ヤマハウェブサイトからダウンロードしてお読みいただけますようお願いいたします。

## 無線に関するご注意

この製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、又は機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。

## 本機の無線方式について

**2.4 DS/OF 4**

「2.4」..... 2.4 GHz 帯を使用する無線設備  
「DS/OF」..... 変調方式は DS-SS および OFDM 方式  
「4」..... 想定干渉距離が 40 m 以内  
..... 全帯域を回避可能

高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品

本機は、電波法に基づく認証を受けた無線機器を搭載しています。そのため、無線局の免許は不要です。

## 数字

10 秒リプレイ 33

30 秒サーチ 33

3D 12

3D メッセージ 44

## A

A-B リピート再生 30

AAC (Advanced Audio Coding) 66

ALAC (Apple Lossless Audio Codec) 66

AV CONTROLLER 39

AVCHD 25

## B

BDAV (Blu-ray Disc Audio/Visual) 66

BD-Live 36

BDMV (Blu-ray Disc Movie) 66

BONUSVIEW 35

## C

CD モード 27

## D

Deep Color 66

DIMMER 11

DLNA 16

Dolby Digital 66

Dolby Digital Plus 66

Dolby TrueHD 66

DSD 67

DTS Neo:6 67

DTS-HD High Resolution Audio 67

DTS-HD Master Audio 67

DTS デジタルサラウンド 67

## F

FLAC (Free Lossless Audio Codec) 67

## H

HDMI ケーブル 13

HDMI コントロール 12

## M

Miracast 38

## P

PBC (無線接続) 21

PCM 67

Picture in Picture 35

PIN (無線接続) 21

PURE DIRECT 27

## R

REMOTE CONTROL 端子 18

## S

SA-CD 7

Secondary Audio 35

SSID (Service Set Identifier) 67

## U

USB メモリー 18

## W

Wi-Fi Direct 37

WPS 21

## X

x.v.Color 66

XLR バランス接続 15

## あ

アスペクト比 48

アングル 31

## い

色空間 66

## お

オンスクリーンメニュー 32

## か

カラースペース 49

簡単セットアップ 20

## く

クローズドキャプション 51

## こ

更新メッセージ 44

## さ

サーチ (無線接続) 21

サーチ再生 30

サンプリング周波数 66

## し

システム情報 54

視聴制限 46

字幕 31

シャッフル再生 29

## す

スーパーオーディオ CD 7

ステレオピンケーブル 13

スライドショー再生 26

## せ

設定メニュー 40

前面ディスプレイの明るさ 11

## そ

ソフトウェアの更新 22

## た

第2映像 35

第2音声 35

タイトル 32

## ち

チャプター 32

## て

ディマー 11

ディンターレース 50

デジタル・メディア・コントローラー 17

デフォルト設定 43

## と

同軸デジタルケーブル 13

トラック 32

## ね

ネットワークコントロール 47

## の

ノイズリダクション 50

## は

ハイブリッドレイヤー 7

パスワード 45

## ひ

光デジタルケーブル 13

ピュアダイレクト 27

## ふ

ファイナライズ 6

ファイル 32

ブルーレイ 3D 12

プロキシ設定 47

プログラム再生 28

## ほ

ポストプロセス 54

## み

ミラキャスト 38

## む

無線接続（設定） 21

## め

メディアの共有設定 17

## ら

ランダム再生 29

## り

リージョン 7

リピート再生 29

リモート接続 18

リモコン ID 11

## ろ

ローカルストレージ 36、44

# 安全上のご注意

ご使用前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様や他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

## ■ 記号表示について

この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。



「ご注意ください」という注意喚起を示します。



「～しないでください」という「禁止」を示します。



「必ず実行してください」という強制を示します。

## ■ 「警告」と「注意」について

以下、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、「警告」と「注意」に区分して掲載しています。



### 警告

この表示の欄は、「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



### 注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。



## 警告

### 電源 / 電源コード



必ず実行

電源プラグは、見える位置で、手が届く範囲のコンセントに接続する。  
万一の場合、電源プラグを容易に引き抜くためです。



プラグを抜く

下記の場合には、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。

- 異常なおいや音がある。
- 煙が出る。
- 内部に水や異物が混入した。
- 異常に高温になる。

そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。



禁止

- 電源コードを傷つけない。
- 重いものを上に載せない。
  - ステータブルで止めない。
  - 加工をしない。
  - 熱器具には近づけない。
  - 無理な力を加えない。

芯線がむき出しのまま使用すると、火災や感電の原因になります。



必ず実行

必ず AC100V (50/60Hz) の電源電圧で使用する。  
それ以外の電源電圧で使用すると、火災や感電の原因になります。



必ず実行

電源コードは、必ず付属のものを使用する。また、付属の電源コードをほかの製品に使用しない。  
故障、発熱、火災などの原因になります。



## 電池



禁止

付属の電池を充電しない。  
電池の破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。



禁止

電池からもれ出た液には直接触れない。  
液が目や口に入ったり、皮膚についたりした場合はすぐに水で洗い流し、医師に相談してください。

## 分解禁止



分解禁止

分解・改造は厳禁。キャビネットは絶対に開けない。  
火災や感電の原因になります。  
修理・調整は販売店にご依頼ください。

## 設置



水ぬれ禁止

本機を下記の場所には設置しない。

- 浴室・台所・海岸・水辺
- 加湿器を過度にきかせた部屋
- 雨や雪、水がかかる場所

水の混入により、火災や感電の原因になります。



禁止

放熱のため本機を設置する際には：

- 布やテーブルクロスをかけない。
- じゅうたん・カーペットの上には設置しない。
- 仰向けや横倒しには設置しない。
- 通気性の悪い狭いところへは押し込まない。

(本機の周囲に左右 10cm、上 10cm、背面 10cm 以上のスペースを確保する。)

本機の内部に熱がこもり、火災の原因になります。



必ず実行

心臓ペースメーカーの装着部位から 22cm 以上離して使用する。  
本機が発生する電波により、ペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。

## 設置



禁止

医療機関の屋内など医療機器の近くで使用しない。  
電波が医療用電気機器に影響を与えるおそれがあります。

## 使用上のご注意



禁止

ディスクの挿入口や放熱用の通風孔、パネルのすき間から金属や紙片などの異物を入れない。  
火災や感電の原因になります。



必ず実行

本機を落したり、本機が破損した場合には、必ず販売店に点検や修理を依頼する。  
そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。



接触禁止

雷が鳴りはじめたら、電源プラグには触れない。  
感電の原因になります。



禁止

本機の上には、花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品・ロウソクなどを置かない。  
水や異物が中に入ると、火災や感電の原因になります。  
接触面が経年変化を起こし、本機の外装を損傷する原因になります。



禁止

レーザー光源をのぞき込まない。  
レーザー光が目にあたると、視覚障害の原因になります。

## お手入れ



必ず実行


電源プラグのゴミやほこりは、定期的にとり除く。  
ほこりがたまったまま使用を続けると、プラグがショートして火災や感電の原因になります。

## 注意

### 電源 / 電源コード



必ず実行

本機を主電源から完全に切り離すには、電源プラグをコンセントから抜く。  
本体の  ボタンでスタンバイ状態にしても、本機はまだ通電状態にあります。



プラグを抜く

長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。  
火災や感電の原因になります。



接触禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。  
感電の原因になります。



禁止

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っばらない。  
コードが傷つき、火災や感電の原因になります。



必ず実行

電源プラグは、コンセントに根元まで、確実に差し込む。  
差し込みが不十分のまま使用すると感電したり、プラグにほこりが堆積して発熱や火災の原因になります。



禁止

電源プラグを差し込んだとき、ゆるみがあるコンセントは使用しない。  
感電や発熱および火災の原因になります。

## 電池



必ず実行

電池は極性表示（プラス＋とマイナス－）に従って、正しく入れる。  
間違えると破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。



禁止

指定以外の電池は使用しない。また、種類の異なる電池や、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない。  
破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。



禁止

電池と金属片をいっしょにポケットやバッグなどに入れて携帯、保管しない。  
電池がショートし、破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。



禁止

電池を加熱・分解したり、火や水の中へ入れない。  
破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。



必ず実行

長時間使用しない場合は、電池を電池ケースから抜いておく。  
電池が消耗し、電池から液漏れが発生し、本体を損傷するおそれがあります。



必ず実行

電池は幼児の手の届かない所に保管する。  
口に入れたりすると危険です。



必ず実行

使い切った電池は、すぐに電池ケースから取り外し、自治体の条例、または取り決めに従って廃棄する。  
破裂や液もれにより、火災やけがの原因になります。

## 設置



禁止

不安定な場所や振動する場所には設置しない。  
本機が落下や転倒して、けがの原因になります。



禁止

直射日光のあたる場所や、温度が異常に高くなる場所（暖房機のそばなど）には設置しない。  
本機の外装が変形したり内部回路に悪影響が生じて、火災の原因になります。



禁止

ほこりや湿気が多い場所に設置しない。  
ほこりの堆積によりショートして、火災や感電の原因になります。



必ず実行

他の電気製品とはできるだけ離して設置する。  
本機はデジタル信号を扱います。他の電気製品に障害をあたえるおそれがあります。



禁止

他の電気製品を本機の上に置かない。  
本機の上部は高温になります。他の電気製品に障害をあたえるおそれがあります。

## 移動



プラグを抜く

移動をするときには電源スイッチを切り、すべての接続を外す。  
接続機器が落下や転倒して、けがの原因になります。  
コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

## 使用上のご注意



手を挟まらないよう注意

ディスクをセットする際は、手をディスクトレイに挟まれないよう注意する。  
閉めるときに挟まれて、けがの原因になることがあります。

## 使用上のご注意



禁止

音が歪んだ状態で長時間使用しない。  
スピーカーが発熱し、火災の原因になります。



禁止

ディスクの挿入口には手を入れない。  
本機のマカニズムに手を引き込まれ、けがの原因になります。



禁止

ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクを使用しない。  
ディスクは、機器内で高速回転しますので、飛び散って、けがの原因になります。



注意

環境温度が急激に変化したとき、本機に結露が発生することがあります。  
正常に動作しないときには、電源を入れない状態でしばらく放置してください。



禁止

業務用機器とは接続しない。  
デジタルオーディオインターフェース規格は、民生用と業務用では異なります。本機は民生用のデジタルオーディオインターフェースに接続する目的で設計されています。業務用のデジタルオーディオインターフェース機器との接続は、本機の故障の原因となるばかりでなく、スピーカーを傷める原因になります。

## お手入れ



必ず実行

手入れをするときには、必ず電源プラグを抜く。  
感電の原因になります。



禁止

薬物厳禁  
ベンジン・シンナー・合成洗剤等で外装をふかない。  
また接点復活剤を使用しない。  
外装が傷んだり、部品が溶解することがあります。

# お問い合わせ窓口

## ヤマハAV製品の機能や取り扱いに関するお問い合わせ

### ■お客様コミュニケーションセンター オーディオ・ビジュアル機器ご相談窓口

ナビダイヤル (全国共通)  **0570-011-808**

固定電話は、全国市内通話料金でご利用いただけます。  
通話料金は音声案内で確認できます。

上記の番号でつながらない場合は、以下の番号におかけください。  
TEL (053) 460-3409

受付：月～金曜日 10:00～17:00  
(土曜、日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)

### ■ホームシアター・オーディオサポートメニュー

お客様からお寄せいただくよくあるお問い合わせをまとめました。  
ぜひご覧ください。

<http://jp.yamaha.com/support/audio-visual/>

## ヤマハAV製品の修理、サービスパーツに関するお問い合わせ

### ■ヤマハ修理ご相談センター

ナビダイヤル (全国共通)  **0570-012-808**

固定電話は、全国市内通話料金でご利用いただけます。  
通話料金は音声案内で確認できます。

上記の番号でつながらない場合は、以下の番号におかけください。  
TEL (053) 460-4830

受付：月～金曜日 10:00～17:00  
(土曜、日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)

### FAXでのお問い合わせ

北海道、東北、関東、甲信越、東海地域にお住まいのお客様  
(03) 5762-2125

北陸、近畿、中国、四国、九州、沖縄地域にお住まいのお客様  
(06) 6649-9340

### 修理品お持ち込み窓口

受付：月～金曜日 10:00～17:00  
(土曜、日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)

\*お電話は、ヤマハ修理ご相談センターでお受けします。

### 東日本サービスセンター

〒143-0006 東京都大田区平和島2丁目1-1  
京浜トラックターミナル内14号棟A-5F  
FAX (03) 5762-2125

### 西日本サービスセンター

〒556-0011 大阪府浪速区難波中1丁目13-17  
ナンバ辻本ニッセイビル7F  
FAX (06) 6649-9340

\*名称、住所、電話番号、URLなどは変更になる場合があります。

## 保証とアフターサービス

サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはヤマハ修理ご相談センターにご連絡ください。

### ●保証期間

製品に添付されている保証書をご覧ください。

### ●保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

### ●保証期間が過ぎているとき

修理によって製品の機能が維持できる場合にはご要望により有料にて修理いたします。

### ●修理料金の仕組み

**技術料** 故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。

**部品代** 修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

**出張料** 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

### ●補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

### ●製品の状態は詳しく

サービスをご依頼されるときは製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。また製品の品番、製造番号などもあわせてお知らせください。

※品番、製造番号は製品の背面もしくは底面に表示してあります。

### ●スピーカーの修理

スピーカーの修理可能範囲はスピーカーユニットなど振動系と電気部品です。尚、修理はスピーカーユニット交換となりますので、エージングの差による音色の違いが出る場合があります。

### ●摩耗部品の交換について

本機には使用年月とともに性能が劣化する摩耗部品(下記参照)が使用されています。摩耗部品の劣化の進行度合は使用環境や使用時間等によって大きく異なります。本機を未永く安定してご愛用いただくためには、定期的に摩耗部品を交換されることをおすすめします。摩耗部品の交換は必ずお買い上げ店、またはヤマハ修理ご相談センターへご相談ください。

#### 摩耗部品の一例

ボリウムコントロール、スイッチ・リレー類、接続端子、ランプ、ベルト、ピンチローラー、磁気ヘッド、光ヘッド、モーター類など

※このページは、安全にご使用いただくためにAV製品全般について記載しております。

### 永年ご使用の製品の点検を！



#### こんな症状はありませんか？

- 電源コード・プラグが異常に熱い。
- コゲくさい臭いがする。
- 電源コードに深いキズが変形がある。
- 製品に触れるとビリビリと電気を感ずる。
- 電源を入れても正常に作動しない。
- その他の異常・故障がある。



#### すぐに使用を中止してください。

事故防止のため電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店に点検をご依頼ください。なお、点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。

ヤマハ株式会社

〒430-8650 浜松市中区中沢町10-1

Manual Development Department  
© 2016 Yamaha Corporation

2016 年 5 月発行 AM-A0  
Printed in China

BD-A1060/J